

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第120集

市内遺跡発掘調査報告書2002

2004. 3

長野県佐久市教育委員会

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第120集

市内遺跡発掘調査報告書2002

2004. 3

長野県佐久市教育委員会

例 言

1. 本書は、2002年度（平成14年度）において個人住宅、民間開発及び公共開発に係る試掘調査並びに立会い調査を実施した市内遺跡発掘調査報告書である。

2. 市内遺跡発掘調査の費用は、全額を国庫補助金、県費補助金、市費等の公費により賅った。

3. 調査組織

2002年度（平成14年度）

調査主体者 佐久市教育委員会

教 育 長 高柳 勉

事務局 教 育 次 長 黒澤 俊彦

文化財課課長 嶋崎 節夫

文化財係長 森角 吉晴

文 化 財 係 林 幸彦 三石 宗一 須藤 隆司 小林 真寿 富沢 一明

上原 学 山本 秀典 出澤 力

4. 各遺跡の執筆は発掘担当者が行い、編集は林が行った。

5. 本書掲載の関係資料等は、佐久市教育委員会の責任下に保管してある。

目 次

1	周防畑遺跡群12	1	28	野沢館跡（隣接）7	32
2	野馬窪遺跡群3	2	29	周防畑遺跡群13	33
3	蛇塚B遺跡群7	4	30	東大久保遺跡群（隣接）3	34
4	長土呂遺跡群6	5	31	虚空蔵山狼煙台1	35
5	円正坊遺跡群4	6	32	荒家遺跡2	36
6	平賀中屋敷遺跡6	7	33	西赤座遺跡11	37
7	四つう子遺跡2	8	34	一本柳遺跡群12	39
8	蛇塚B遺跡群8	9	35	東五里田遺跡4	40
9	番屋前遺跡群14	10	36	平賀城跡5	42
10	円正坊遺跡群5	11	37	東立科A遺跡1	43
11	鳴澤遺跡群（隣接）4	13	38	西裏遺跡群1	44
12	岩村田遺跡群30	14	39	中久保田遺跡7	45
13	前田遺跡群1	15	40	中原遺跡群26	46
14	長土呂遺跡群8	16	41	宮の後遺跡3	47
15	猿久保屋敷添遺跡5	17	42	上の原遺跡群2	48
16	長土呂遺跡群7	19	43	長土呂遺跡群9	49
17	宮の西遺跡2	20	44	長土呂遺跡群10	50
18	上の城遺跡群8	21	45	長土呂遺跡群11	51
19	上の城遺跡群9	22	46	常田居屋敷遺跡群8	52
20	未周知	23	47	原遺跡1	53
21	長明塚遺跡（隣接）4	24	48	寄塚遺跡群1	54
22	寺畑遺跡群10	25	49	下信濃石遺跡3	55
23	円正坊遺跡群6	26	50	平賀中屋敷遺跡7	56
24	一本柳遺跡群（隣接）11	27	51	黒田A遺跡1	57
25	野沢館跡6	28	52	竹原遺跡3	58
26	開戸田遺跡1	29	53	今井宮の前遺跡1	59
27	筒畑遺跡群1	31	54	根々井氏館跡5	60
	付表 2002年度市内遺跡発掘調査一覧表	62			
	付図 2002年度市内遺跡発掘調査位置図	63			

試掘調査

1 周防畑遺跡群12

所在地 佐久市大字長土呂字下北原862-1、2、3、20、21
開発主体者 エフビー信州(株)
開発事業名 事務所見倉庫および駐車場建設事業
調査期間 平成14年4月5日
面積 598m² (開発面積1,594m²)
調査担当者 出澤 力



周防畑遺跡群12位置図 (1:10,000)

経過と結果

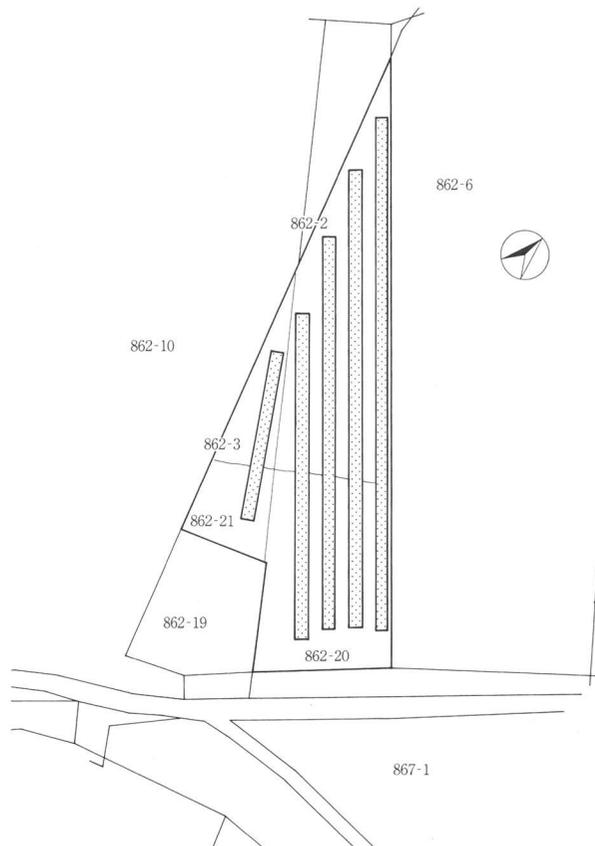
本遺跡は佐久平の北方、田切りの台地上に立地する。本遺跡周辺には同様に田切り台地上に存在する芝宮遺跡群、長土呂遺跡群が存在し、佐久市内でも有数な大遺跡群である。本遺跡群内では田切り台地の先端部分において過去発掘調査が行われ弥生後期から平安時代に及ぶ大集落が調査されており、また本遺跡周辺では国道141号線バイパスに伴う調査などにより古墳時代中期から平安時代の住居址が確認されている。

今回、エフビー信州(株)により事務所見倉庫および駐車場建設事業が計画され、対象地の遺構の有無を確認するため試掘調査を実施した。

試掘調査は調査区内にトレンチを5本設定し、遺構遺物の確認が行われた。地表下45cmの浅間第一軽石流(P1)まで掘り込み調査を行ったが、遺構・遺物は共に発見されなかった。



調査状況 (上:南から・下:北から)



周防畑遺跡群12調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

2 野馬窪遺跡群 3

所在地 佐久市大字猿久保字屋敷添187-1
開発主体者 佐久市土地開発公社
開発事業名 サッカー場整備
調査期間 平成14年4月6日～10日
面積 1,600m² (開発面積7,000m²)
調査担当者 三石 宗一



野馬窪遺跡群 3 位置図 (1 : 10,000)

経過と結果

野馬窪遺跡群は佐久市のほぼ中央部に位置し、北側には隣接して蛇塚B遺跡群・蛇塚A遺跡群が存在し、湯川を挟んで北側に上の城遺跡群・岩村田遺跡群・一本柳遺跡群が展開している。

本遺跡群内では昭和56年度に遺跡群の南端部にあたる野馬窪遺跡の発掘調査が行われ、弥生時代後期前半の竪穴住居址2棟、土坑1基、溝址1条等が調査されている他、平成13年度には今回の調査地の西側に隣接して宅地造成に伴う試掘調査が実施されており、弥生時代から平安時代の住居址20棟が検出されている。また、調査区の東方には野馬窪古墳が存在する。

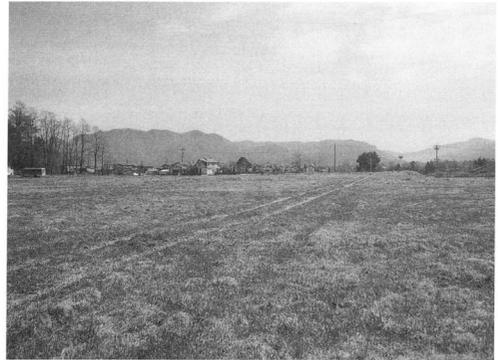
今回、佐久市土地開発公社によりサッカー場整備が計画されたことから、遺構の有無を確認するため試掘調査を実施した。

調査はサッカーコートの整備によって削平される東側部分について南北17本、東西5本の計22本のトレンチを掘り下げて遺構の確認を行った。

調査の結果、調査区北東部分において地表下10～20cmで遺構確認面である浅間第一軽石流(P1)に達し、竪穴住居址2棟、土坑2基が検出された。調査区南側については大半が建物による攪乱を受け、約1mの埋土が行われており遺構は確認されなかった。

遺物は住居址内より土師器片が少量出土した。

遺構の検出された箇所は掘削部分から外れるため現状保存されることとなった。



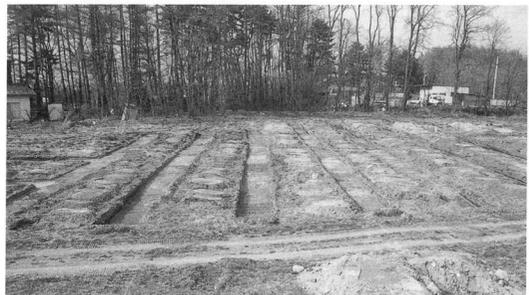
調査地点近景 (西から)



トレンチ掘削状況 (南から)



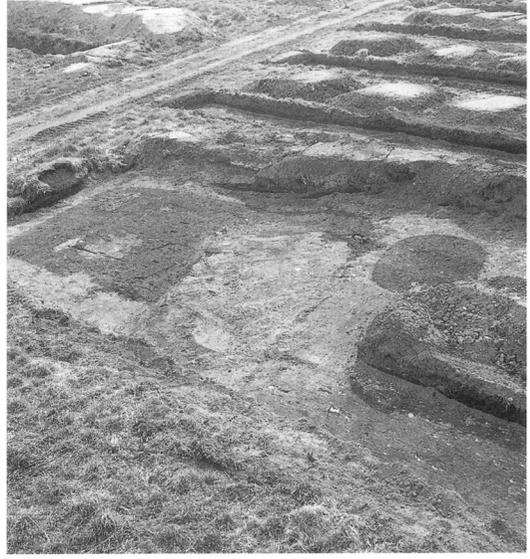
トレンチ掘削状況 (西から)



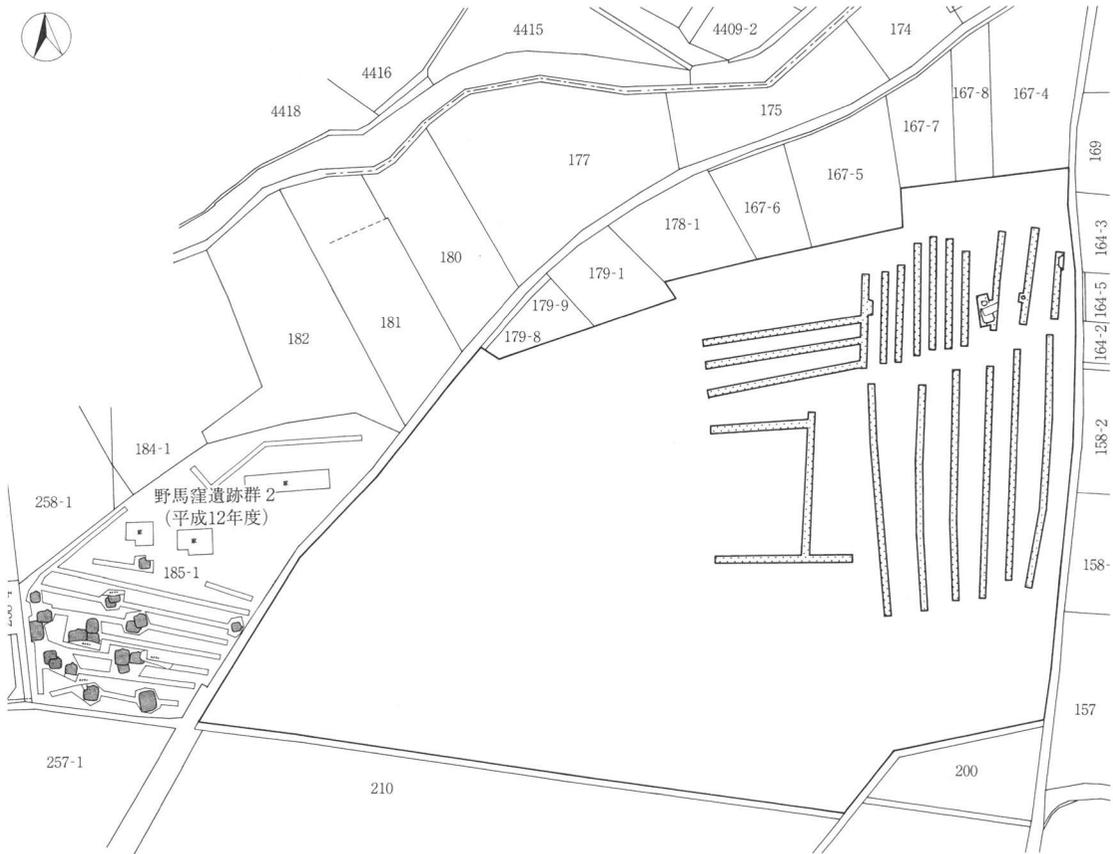
トレンチ掘削状況 (南から)



遺構検出状況（南から）



遺構検出状況（東から）

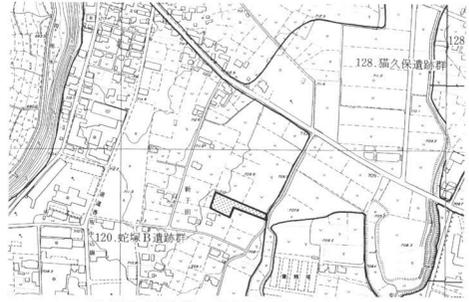


野馬窪遺跡群 3 調査全体図 (1 : 2,000)

試掘調査

3 蛇塚B遺跡群7

所在地 佐久市大字新子田字ミセキ1794、1795-1
開発主体者 中沢健一郎
開発事業名 集合住宅建設
調査期間 平成14年5月7・8・15日
面積 350m²（開発面積1,417m²）
調査担当者 三石 宗一



蛇塚B遺跡群7位置図（1：10,000）

経過と結果

本遺跡群内では昭和54・58年度に蛇塚B遺跡第一次・第二次の調査が行われ、平安時代の竪穴住居址21棟等が調査されている他、平成6年度に行われた蛇塚B遺跡Ⅲでは平安時代の竪穴住居址8棟が調査されている。今回の調査対象地は南東に向かって緩やかに傾斜し、東側に浅い田切りが存在している。



調査状況（東から）



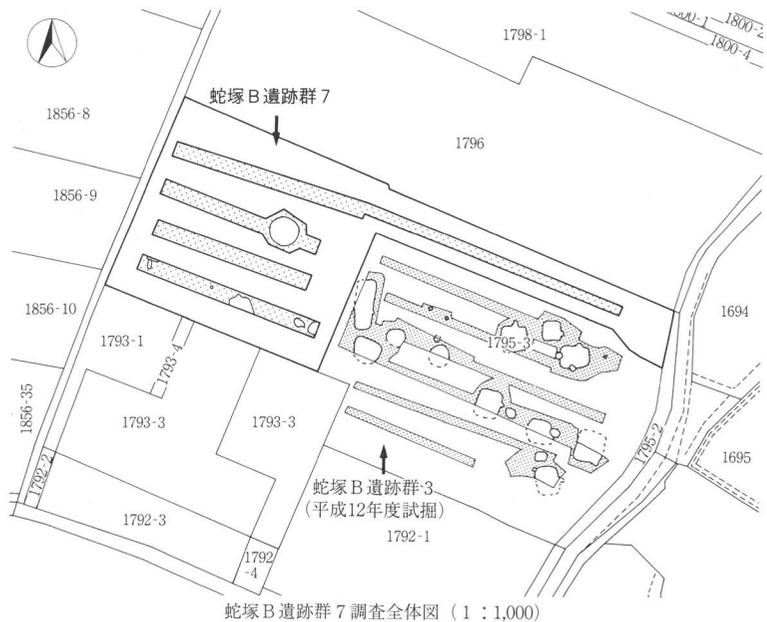
遺構検出状況（北東から）

平成12年度には東側に隣接して蛇塚B遺跡群3の試掘調査が実施されており、竪穴住居址10棟（縄文時代3棟、平安時代7棟）の他、竪穴状遺構1基、土坑6基等が検出されている。

今回、中沢健一郎氏により集合住宅の建設が計画されたため、事前に試掘調査を実施した。

調査対象地内に東西方向のトレンチを4本掘り下げ遺構の確認を行った。その結果、表土下20～30cmで遺構確認面である浅間第一軽石流（P1）に達し、竪穴住居址2棟、土坑3基、ピットが検出され、住居址より土器器片・須恵器片が少量出土した。

試掘調査の後保護協議がなされ、盛土により現状保存されることとなった。



蛇塚B遺跡群7調査全体図（1：1,000）

試掘調査

4 長土呂遺跡群 6

所在地 佐久市大字長土呂字上日影585-1、585-2
579-1、586-1、574、575

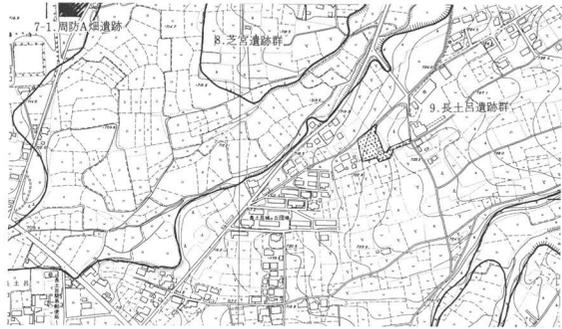
開発主体者 東亜開発株式会社

開発事業名 宅地造成

調査期間 平成14年4月8・9日

調査面積 300㎡（開発面積1,955㎡）

調査担当者 上原 学



長土呂遺跡群6位置図（1：10,000）

経過と結果

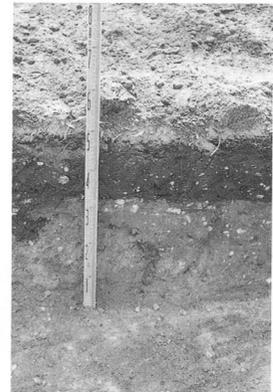
遺跡は岩村田市街地の北西、長土呂地積に所在し、浅間の麓から放射状にのびる細長い田切り地形の台地上に立地する。調査地域は遺跡群の南に位置し、標高は719m内外を測る。今回、東亜開発株式会社による宅地造成が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を実施した。

調査は重機により、東西方向のトレンチ10本、南北方向のトレンチ1本を設定し、表土下30cm内外の黄褐色土ローム上面にて遺構の確認を行った。

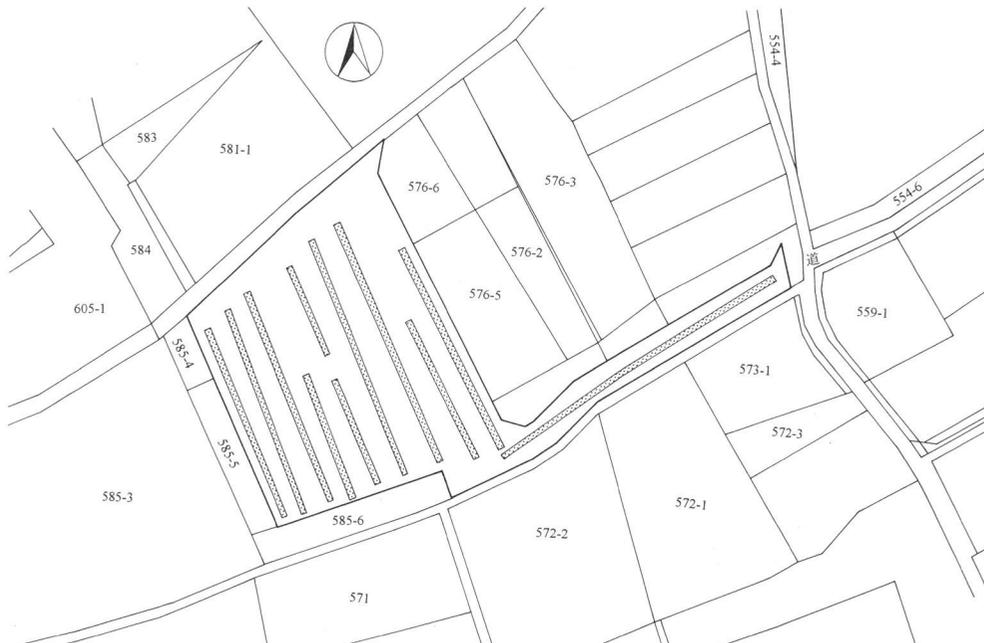
遺構・遺物は確認できなかった。



調査風景（南から）



土層断面



長土呂遺跡群6調査全体図（1：1,000）

試掘調査

5 円正坊遺跡群 4

所在地 佐久市大字岩村田字塚本1298-2
調査委託者 中沢 敦子
開発事業 集合住宅建設
調査期間 平成14年7月15日～9月25日
面積 730m² (開発面積1,700m²)
調査担当者 林 幸彦



円正坊遺跡群4位置図 (1:10,000)

経過と結果

中沢敦子により集合住宅建設が計画されたため、平成14年4月24日から5月15日まで試掘調査を実施した。

その結果、竪穴住居址(弥生時代～平安時代)40軒以上、掘立柱建物址2棟、土坑13基、溝址5本、ピット12基が確認された。遺物は、弥生時代後期土器、土師器、須恵器、灰彩陶器、鉄器等が出土した。

遺構は、表土下20～40cmで検出された。

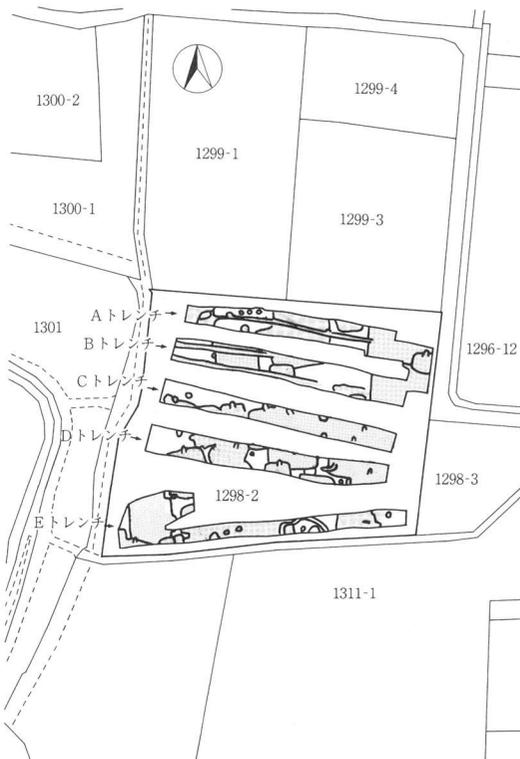
保護協議の結果、建物の基礎工事が深く削平され破壊される部分と2箇所の出入り口部について本調査を実施することになった。本調査の遺跡名は、円正坊遺跡群円正坊遺跡Ⅵとした。



Aトレンチ遺構検出状況(東から)



Eトレンチ遺構検出状況(東から)



円正坊遺跡群4調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

6 平賀中屋敷遺跡 6

所在地 佐久市大字平賀5325-1
開発主体者 佐久市（学校教育課）
開発事業名 佐久城山小学校屋内運動場改築工事
調査期間 平成14年4月25・26日
調査面積 220㎡（開発面積1,264㎡）
調査担当者 上原 学

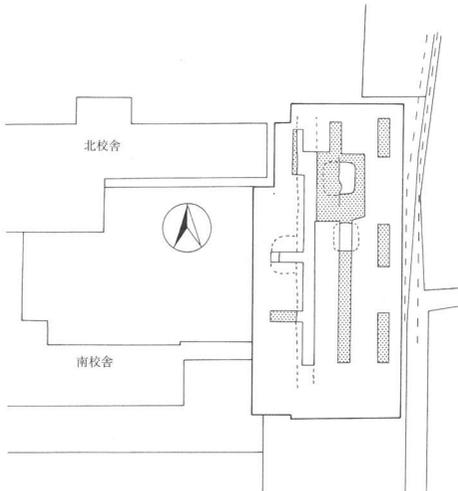


平賀中屋敷遺跡6位置図（1：10,000）

経過と結果

遺跡は佐久市平賀地積に所在し、北方を東西方向に流れる滑津川と南方を東から舌状に張り出した丘陵に挟まれた標高688m内外を測る扇状地先端地域に立地する。今回、佐久城山小学校屋内運動場改築工事が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

調査は重機により、南北方向のトレンチ5本を設定し、遺構の確認を行った。調査区内は旧体育館跡地ということもあり、攪乱が著しく表土は完全に削り取られた状況であったが、弥生時代から平安時代の住居址などの遺構が、大きく破壊されながらもその痕跡をとどめていた。遺物は遺構に伴うと考えられる弥生式土器、土師器が出土した。調査の結果から、開発主体者と改めて協議を行い、遺構の記録保存を目的として本調査を行う運びとなった。



平賀中屋敷6調査全体図（1：1,000）



調査状況（南東から）



調査状況（北から）

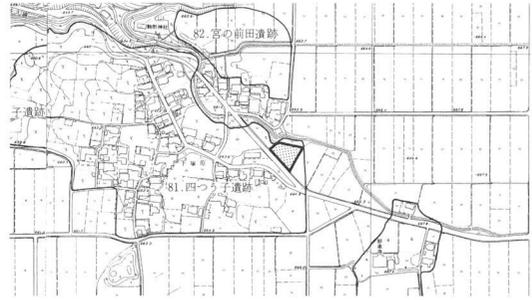


遺物出土状況

試掘調査

7 四つう子遺跡 2

所在地 佐久市大字塚原1886-1・9
開発主体者 高柳 盛健
開発事業名 集合住宅建設
調査期間 平成14年5月10日
調査面積 180m² (開発面積1,358.46m²)
調査担当者 林 幸彦



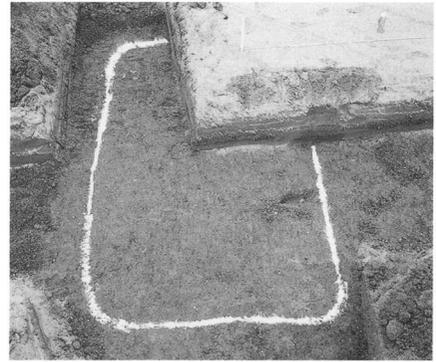
四つう子遺跡 2 位置図 (1:10,000)

経過と結果

高柳盛健により集合住宅建設が計画されたため、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。調査は重機により、幅2mのトレンチ4本を設定し、遺構の確認を行った。1層以下60~70センチで塚原泥流に至った。水田耕土(1層)、床土・水田耕土(2層)、床土(3層)、水田耕土(4層)、遺構覆土(5層、黒褐色土)、遺物包含層(6層)、塚原泥流(7層)。

遺構は時代不詳の竪穴状遺構が確認された。遺物は、遺構外より土師器片3片、須恵器片1片が出土した。

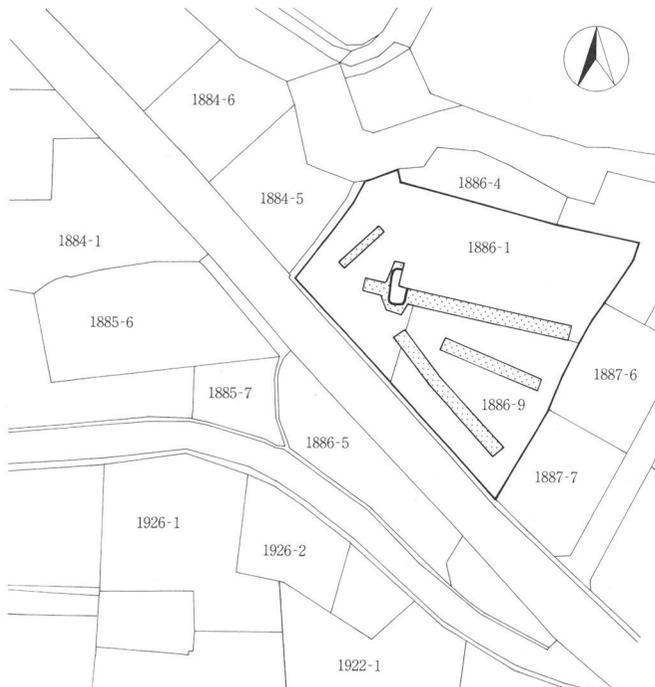
保護協議の結果、表土より30cm盛土され工事が施工された。



竪穴状遺構検出状況 (南から)



トレンチの状況 (西から)



四つう子遺跡 2 調査全体図 (1:1,000)

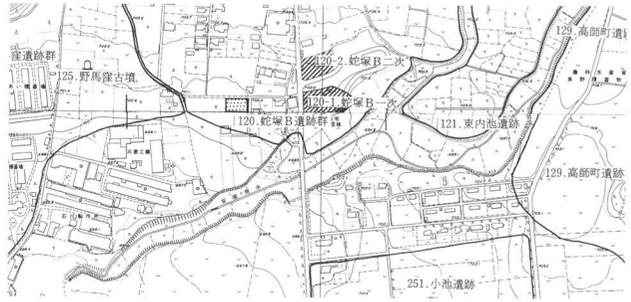


土層断面 (南から)

試掘調査

8 蛇塚B遺跡群 8

所在地 佐久市大字新子田字野馬窪1943-17
開発主体者 市川 海作
開発事業名 アパート建設
調査期間 平成14年5月15日
面調査積 230m² (開発面積810.83m²)
調査担当者 上原 学



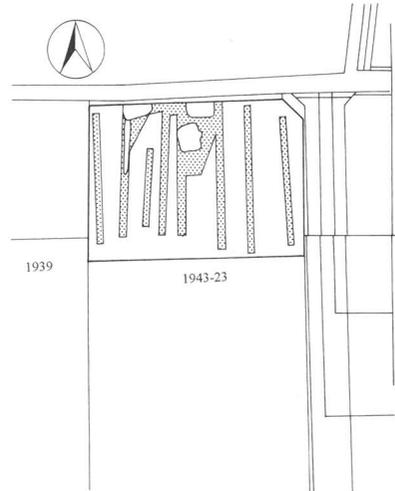
蛇塚B遺跡群8位置図 (1:10,000)

経過と結果

遺跡は岩村田市街地の東方を南北方向に流れる湯川左岸の段丘上に展開する弥生時代、奈良・平安時代を中心とする集落址である。遺跡内では1979年蛇塚B遺跡Iが、1983年には蛇塚B遺跡II、1984年には蛇塚遺跡群野馬窪遺跡の調査が行われるなど、多くの遺構が発見されている。今回、遺跡群南端の標高702m内外を測る地域においてアパート建設が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

調査は重機により、南北方向のトレンチ8本を設定し、表土下70cmの黄褐色土ローム上面にて遺構の確認を行った。その結果、調査区北端付近から住居址2軒、そのやや南から東壁にカマドを持つ住居址1軒、調査区西側を南北方向にはしる溝跡が1条認められたことから、各遺構の状況把握のため一部拡張作業を行った。遺物は覆土内に僅かな土師器片が認められた。

調査終了後、開発主体者と協議の結果、検出面が比較的深く、開発地域は埋土のため遺構は埋土保存する運びとなった。



蛇塚B遺跡群8調査全体図 (1:1,000)



遺構検出状況 (南から)



調査風景 (北から)

試掘調査

9 番屋前遺跡群14

所在地 佐久市大字猿久保890-4、888-5、887-6
開発主体者 国土交通省 関東地方整備局
開発事業名 庁舎増築・駐車場造成
調査期間 平成14年5月16日、8月24日
面積 117m² (開発面積530m²)
調査担当者 三石 宗一



番屋前遺跡群14位置図 (1:10,000)

経過と結果

本遺跡群内では平成8年度に番屋前遺跡Ⅰ・Ⅱの発掘調査が行われ、井戸址・土坑・溝状遺構が調査された。また、台地の東側縁辺部にあたる番屋前遺跡Ⅲは平成10年度に試掘調査が行われ、中世と考えられる竪穴状遺構・土坑・溝址・ピット等が調査区の全面から多数検出されたことから建物部分について発掘調査を実施し、竪穴状遺構3基、土坑64基の他溝址・ピット群等が調査された。この他、県道改良事業・共同住宅建設等に伴い13回にわたって試掘・立会調査が行われており、番屋前遺跡Ⅲの南方に位置する番屋前遺跡群6 (平成6年度) では平安時代と考えられる竪穴住居址2棟が検出されている。また、古墳は遺跡群内北側に金比羅塚古墳・御経塚古墳が存在している。

今回、国土交通省関東地方整備局により長野地方法務局佐久支局の庁舎増築及び駐車場造成が計画されたため、事前に試掘調査を実施した。

調査は東側駐車場用地部分を5月16日、8月24日に庁舎南側の増築部分を8月24日の2回に分けて行った。

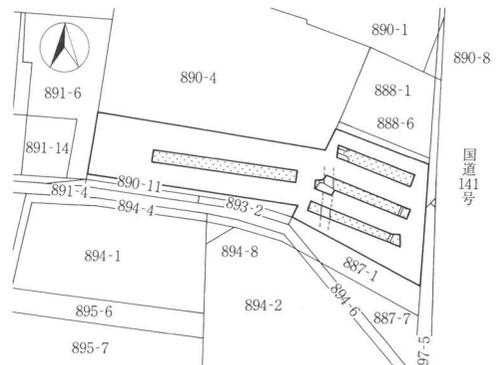
5月16日、調査対象地の内東側の駐車場用地である887-6・888-5についてトレンチ3本を掘り下げ、遺構の確認を行った。その結果、地表下40cmで遺構確認面に達し、攪乱によって一部破壊を受けているものの幅約1.5mで調査区西側を南北に走る溝址1条が検出された。

8月24日、庁舎増築部分である890-4について東西方向のトレンチ1本を掘り下げた。舗装面下に60~90cmの埋土が行われている状況が確認されたが、遺構・遺物ともに検出されなかった。

その結果、888-5西側から検出された溝址1条について記録保存を目的とする発掘調査を実施することとなった。



溝址検出状況



調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

10 円正坊遺跡群 5

所在地 佐久市大字岩村田字諏訪宮1129-1、1150-1、
1151-1、1267-1・6、1268-1、1269-1、
1271-1・3・4、1272-1

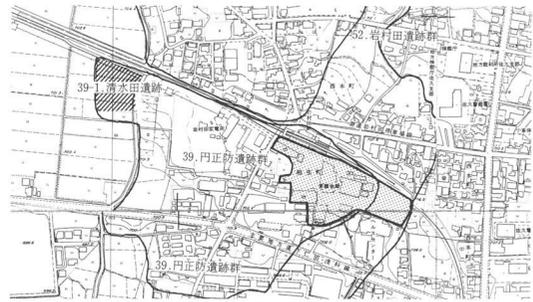
開発主体者 土屋 賢嗣

開発事業名 宅地造成

調査期間 平成14年5月20日～5月30日

面積 470m² (開発面積12,953.43m²)

調査担当者 林 幸彦



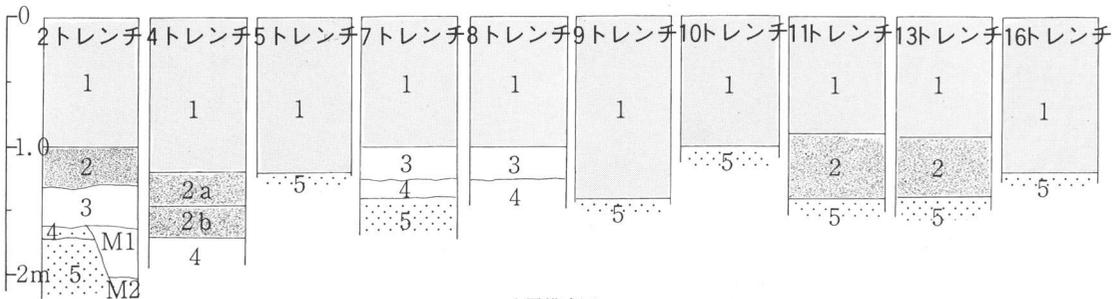
円正坊遺跡群5位置図 (1:10,000)

経過と結果

土屋賢嗣により宅地造成が計画されたため、遺構の有無を確認するために試掘調査を行った。重機により幅2mのトレンチを11本、3mを3本設定し調査した。既存の建物を壊し整地後であったため全体に盛り土があった。1層は盛り土で、1～14トレンチにおいて70～140cmの厚さでみられた。2層は近現代の水田で7・8・11～15トレンチでみられ、4トレンチでは2枚認められた。3層は強い粘質の黒色土(10YR1/2)で土師器・須恵器・弥生時代後期土器を含む。4層は、5層への漸移層で暗褐色土(10YR3/3)である。5層は、黄褐色土(10YR5/6)で浅間第一軽石流(P1)である。1～3トレンチ内の西端から、弥生時代後期と見られる幅3.6m深さ1.1mの溝址が検出された。7・8トレンチ方向へ伸びるのであろうか。7・8トレンチでは、3・4層がみられたものの溝址は明確でない。

遺物は3層から土師器片・須恵器片・弥生時代後期土器片、溝址覆土から弥生時代後期土器片・木器が出土した。溝址覆土は砂と黒色土(10YR2/1)が40cm、褐灰色土(10YR4/1)砂層である。弥生時代後期土器片出土。

保護協議の結果、宅地造成時に掘削が遺構面まで達しないので埋め戻しをした。



土層模式図



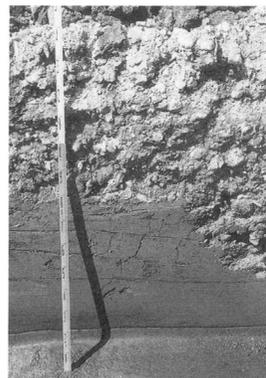
2トレンチ (西から)



5トレンチ (東から)



6・7トレンチ (北から)



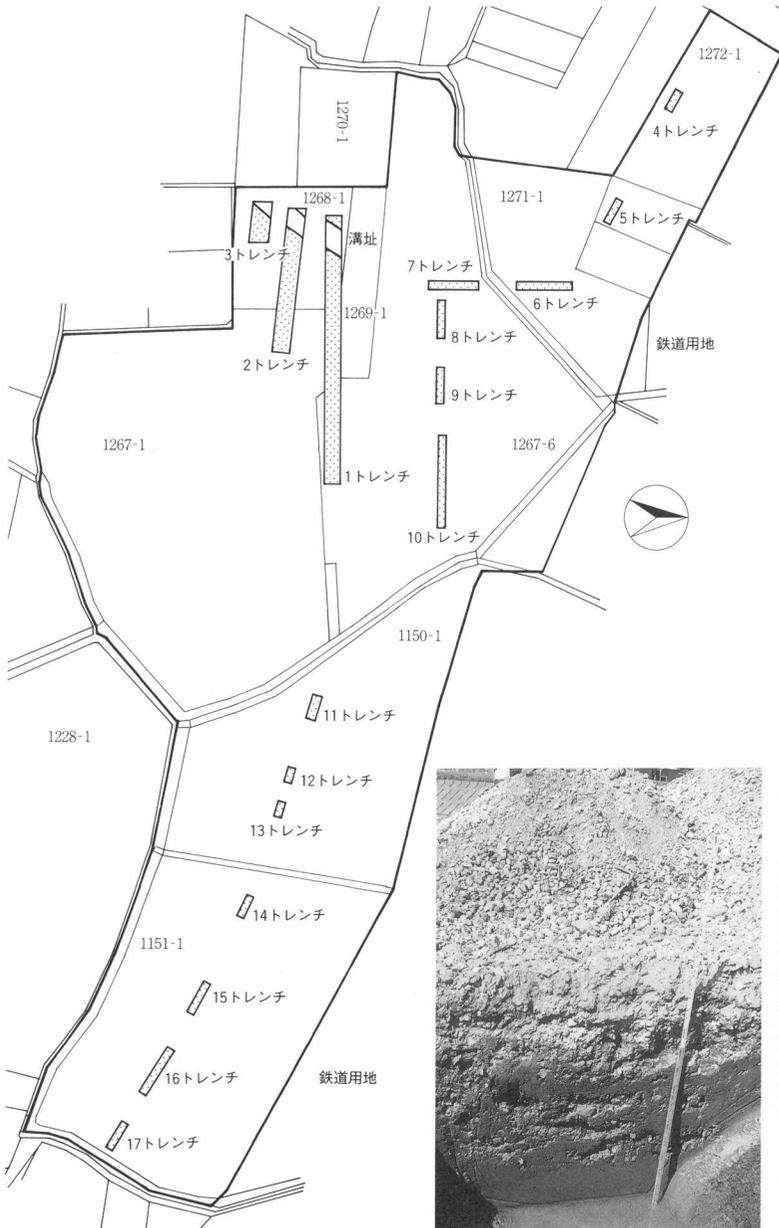
11トレンチ (南から)



7トレンチ (東から)



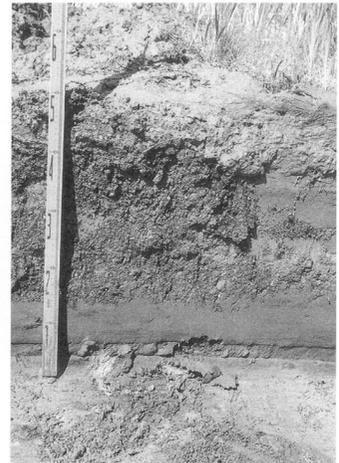
8トレンチ (南から)



円正坊遺跡群 5 調査全体図 (1 : 1,000)



14トレンチ (南から)



16トレンチ (南から)

試掘調査

11 鳴澤遺跡群(隣接) 4

所在地 佐久市大字岩村田字北西ノ久保2381-11、
2381-12、2381-13

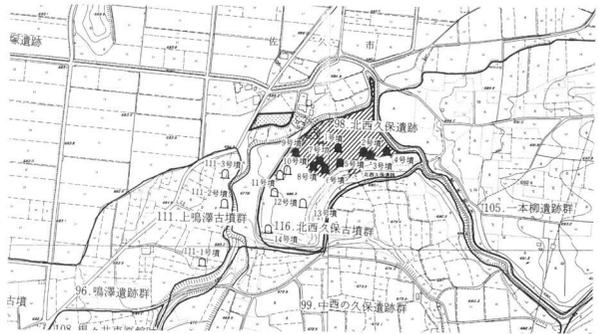
開発主体者 増田 裕行

開発事業名 (仮称) 増田医院新築工事

調査期間 平成14年 5月21日

調査面積 50m² (開発面積1,321.82m²)

調査担当者 上原 学

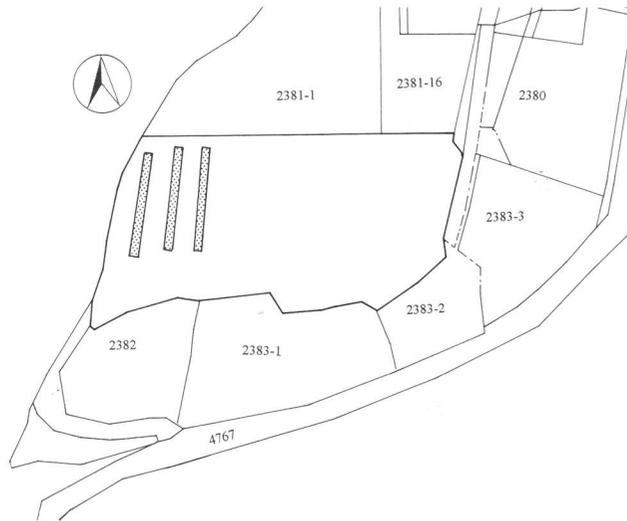


鳴澤遺跡群(隣接) 4 位置図 (1 : 10,000)

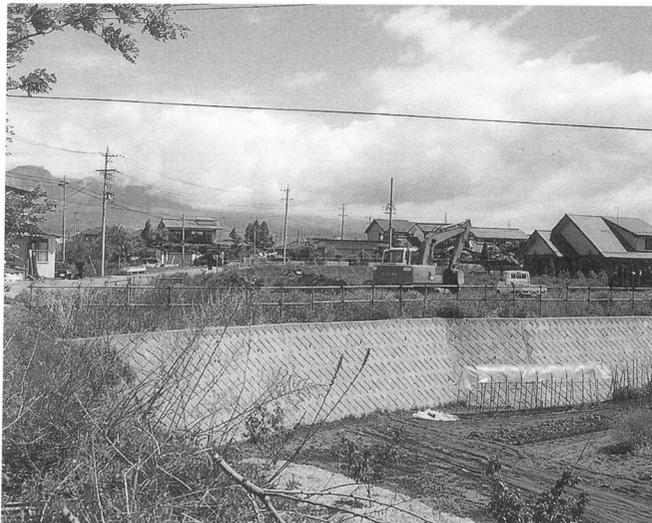
経過と結果

遺跡群は岩村田市街地西方の湯川右岸段丘上に立地する。この一帯は遺跡の密集地として以前から知られており、北西ノ久保遺跡、中西の久保遺跡、西一本柳遺跡など弥生時代から平安時代を中心とする集落址・古墳が調査されている。鳴澤遺跡群内では平成9年に五里田遺跡の調査が行われ弥生・古墳時代の住居址43軒が調査され、多くの遺物を出土している。今回、この鳴澤遺跡群北端にほぼ隣接する地域において、医院新築工事が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を実施した。

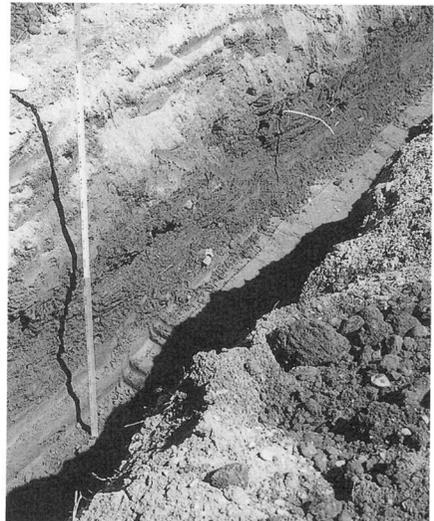
調査は重機により、南北方向のトレンチ3本を設定し、遺構の確認を行った。その結果、調査区は段丘境の南側傾斜地に2m内外の厚みで埋土整地していることが判明し、遺構の検出は埋土底部直下50cmの灰褐色土上面において行ったが、遺構・遺物は認められなかった。



鳴澤遺跡群(隣接) 4 調査全体図 (1 : 1,000)



調査状況(南から)



土層断面

試掘調査

12 岩村田遺跡群30

所在地 佐久市大字岩村田324-3、325-1、326-1
開発主体者 上原 康德
開発事業名 (仮称) エクセリーナ上原新築工事
3階建マンション
調査期間 平成14年5月23・24日
調査面積 260㎡ (開発面積1,416.53㎡)
調査担当者 上原 学



岩村田遺跡群30位置図 (1:10,000)

経過と結果

遺跡群は岩村田市街地を中心に展開し、浅間の麓から放射状にのびる田切り地形の台地上に立地する。調査対象地は遺跡群の北端に近い標高750m内外を測る地域である。今回、上原康德によるマンション新築工事が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を実施した。

調査は重機により、東西方向のトレンチ2本、南北方向のトレンチ11本を設定し、遺構の確認を行った。その結果、調査区北東端から南西端にかけて表土下70cm内外の黄褐色土ローム上面で、幅5m内外の溝跡が確認できた。遺物は出土しなかった。

調査後、開発主体者と協議を行い、発見された溝跡については、遺構の破壊が予想されるマンション建築部分のみ記録保存を目的とした発掘調査を行い、他の部分は埋土保存する運びとなった。



岩村田遺跡群30調査全体図 (1:1,000)



調査状況 (北から)

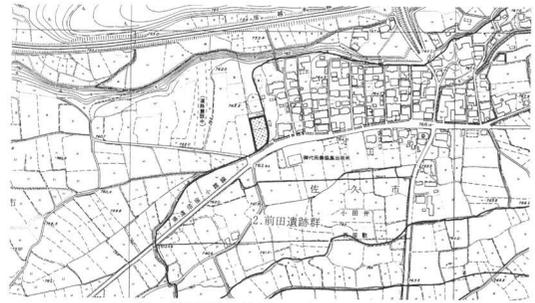


土層断面

試掘調査

13 前田遺跡群 1

所在地 佐久市大字小田井字西屋敷378、388
開発主体者 三浦 三夫
開発事業名 集合住宅建設事業
調査期間 平成14年 5月23日～25日
面積 344㎡（開発面積1,352㎡）
調査担当者 出澤 力



前田遺跡群 1 位置図 (1:10,000)

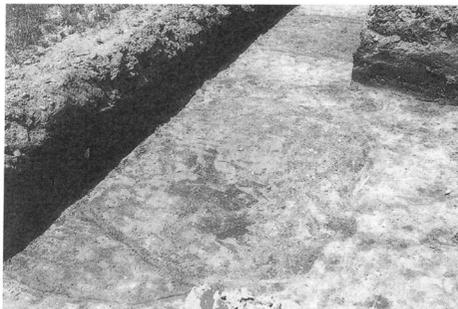
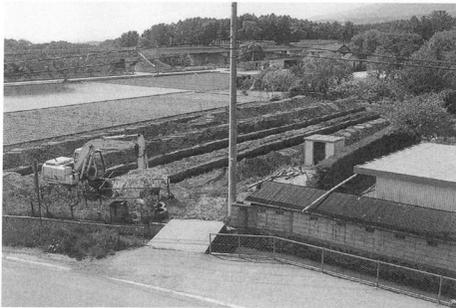
経過と結果

本遺跡群は佐久市の北端、小諸市と御代田町に隣接する。浅間山麓の山麓末端部の緩やかな平地上に立地し、そこに形作られる田切り地形の台地上には佐久市内有数の規模を持ち遺跡群が多く存在している。前田遺跡群周辺では昭和60～62年にかけて、圃場整備授業に先立つ前田遺跡Ⅰ～Ⅲ次、鋳物師屋遺跡Ⅰ・Ⅱのあわせて48,000㎡にも渡る発掘調査が行われ、古墳時代から中近世にかけて住居址196軒、堀立柱建物址196棟などが認められており、また平成12年には今回調査区のすぐ南方において発掘調査が行われ古墳時代から平安時代にあたる住居址5軒が発見されている。

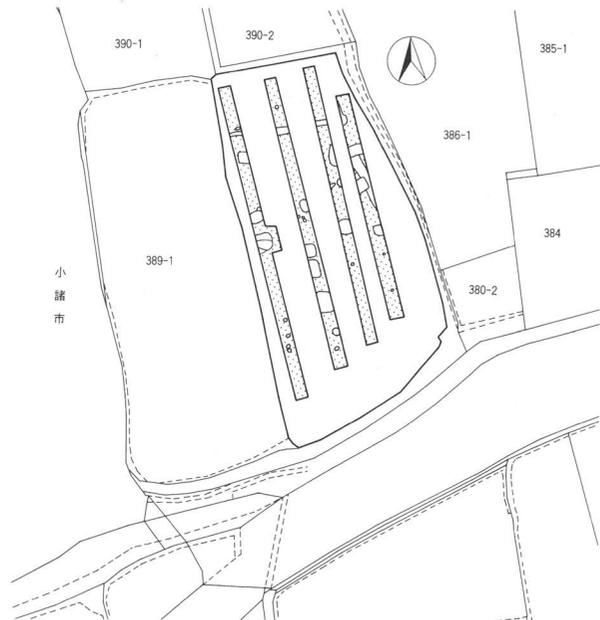
今回三浦三夫により集合住宅建設事業が計画され、対象地の遺構の有無を確認するため試掘調査が実施された。

試掘調査は調査対象地にトレンチを4本設定し、遺構・遺物の確認が行われた。地表下70～80cmのローム層まで掘り込み調査を行った所、堅穴住居址4軒、土坑11基、溝址2条、ピット12基の遺構を確認した。遺物は遺構上面より出土した破片数点を認めるのみだが、いずれも平安時代の所産のもので、これらの遺構は平安時代にあたるものと考えられる。

保護協議の結果、開発は遺構確認面には及ばず、遺構の破壊の懸念がある部分についてのみ設計を変更して遺構を保護し、埋土保存される事となった。



調査状況 (上・下：南から)



前田遺跡群 1 調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

14 長土呂遺跡群 8

所在地 佐久市大字長土呂字下聖端186-5外18筆
開発主体者 佐久市高速交通課
開発事業名 道路新設
調査期間 平成14年5月7日～5月9日
平成14年11月11・12日
面積 650m² (開発面積1,990.28m²)
調査担当者 林 幸彦



長土呂遺跡群 8 位置図 (1 : 10,000)

経過と結果

市道の新設工事を佐久市が計画したので、幅2～3mのトレンチを東西に3本設定し、試掘調査を実施した。

表土下20～100cmで浅間第一軽石流 (P1) に達した。遺物は弥生時代後期土器片2点、土師器片5点、須恵器片8点が出土したが、遺構は確認されなかった。

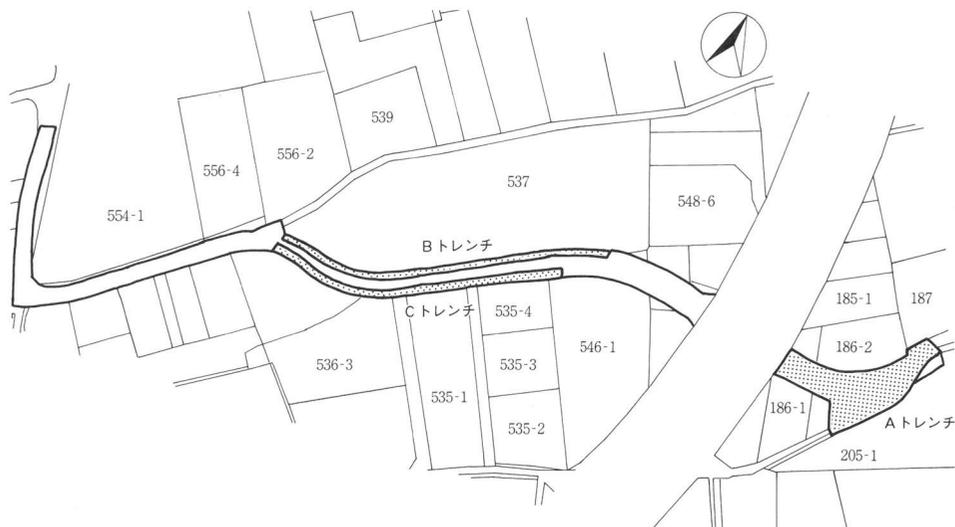
調査結果を得て保護協議の結果、工事が着工された。



Bトレンチ (西から)



Cトレンチ (西から)

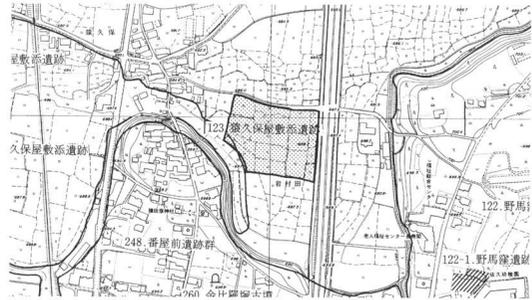


長土呂遺跡群 8 調査全体図 (1 : 2,000)

試掘調査

15 猿久保屋敷添遺跡 5

所在地 佐久市大字岩村田字南向田4478他9筆
開発主体者 株式会社 マルハン
開発事業名 店舗建設
調査期間 平成14年5月30日～6月4日
面積 2,000㎡（開発面積15,333.92㎡）
調査担当者 三石 宗一



猿久保屋敷添遺跡 5 位置図（1：10,000）

経過と結果

猿久保屋敷添遺跡は北方を流れる湯川左岸の段丘上に位置し、南側に隣接して番屋前遺跡群・寺畑遺跡群が存在し、湯川を挟んで北方に上の城遺跡群・中鳴澤遺跡群・一本柳遺跡群が展開している。

本遺跡内では平成2年度に宅地造成に伴う試掘調査と2度の立会調査、平成11年度に共同住宅建設に伴う試掘調査が行われており、平成11年度に行われた猿久保屋敷添遺跡4の試掘調査では遺構の存在は認められなかったものの、平成2年度に実施された猿久保屋敷添遺跡1では古墳時代から平安時代の堅穴住居址と考えられる落ち込みが9棟確認されている。

今回、株式会社マルハンにより店舗建設が計画されたため、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

調査地は遺跡群の東端部に隣接し、番屋前遺跡群が存在する南側の台地との比高差約10mを測る湯川の第2段丘上に立地する。

調査は対象地の全面に東西11本、南北9本の計20本のトレンチを掘り下げ遺構の確認を行った。

調査の結果、地表下40cm～1mで遺構確認面である暗緑灰色粘質土・灰白色粘質土に達したが、湧水が激しい状況であることから、調査区北方の湯川による堆積層であると考えられる。

調査区内東側で建物による攪乱が認められたが遺構・遺物ともに検出されなかった。



調査区遠景



試掘調査

16 長土呂遺跡群 7

所在地 佐久市大字長土呂字下聖端203-1・2、204-1
開発主体者 神津 厚一
開発事業名 集合住宅建設
調査期間 平成14年6月5・6日
面積 370m² (開発面積2,997m²)
調査担当者 林 幸彦



長土呂遺跡群 7 位置図 (1:10,000)

経過と結果

神津厚一が集合住宅建設を計画したので、幅1mと2mのトレンチを13本設定し、遺構の有無を確認した。

表土下20~40センチで浅間第一軽石流(P1)に至った。弥生時代後期土器片、土師器片、須恵器片が出土した。遺構は検出されなかった。



調査レンチ近景 (南東から)



トレンチ設定状況 (南から)



長土呂遺跡群 7 調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

17 宮の西遺跡 2

所在地 佐久市大字岩村田字東長塚1858-3、
1865-2・4
開発主体者 佐久市
開発事業名 佐久市国保浅間総合病院西棟
改築工事
調査期間 平成14年6月20・21日
調査面積 210m² (開発面積1,436.21m²)
調査担当者 上原 学



宮の西遺跡2位置図 (1:10,000)

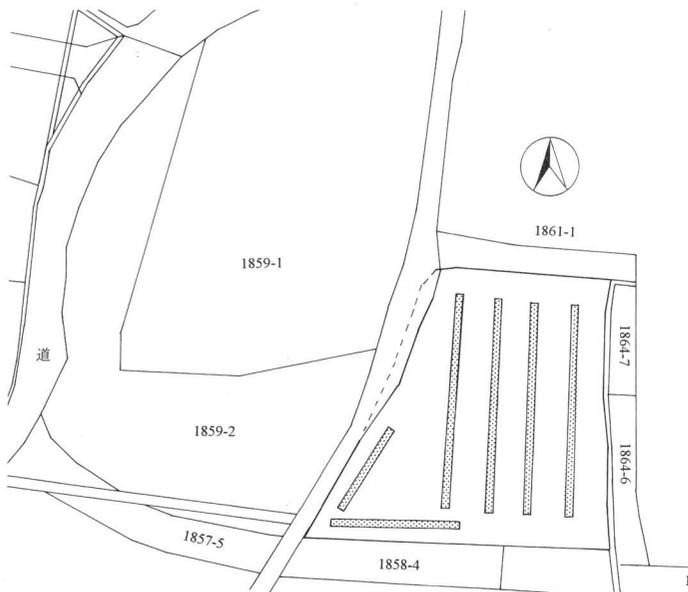
経過と結果

遺跡は佐久市岩村田地積、国保浅間総合病院南の低地帯に位置し、調査対象地は遺跡の西側に位置する。標高は694m内外を測る。今回、佐久市による国保浅間病院西棟改築工事に伴い、遺構の有無を確認するため試掘調査を実施した。

調査は、重機により南北方向のトレンチ5本、東西方向のトレンチ1本を設定し、遺構の確認を行った。調査区の大半は粘性の黒褐色土が厚く堆積していることから、以前は北方に比してやや低地の湿地であったと考えられ、表土下1.5m付近から湧水が認められた。遺構・遺物は確認できなかった。



調査状況 (南から)



宮の西遺跡2調査全体図 (1:1,000)



調査状況 (北から)

試掘調査

18 上の城遺跡群 8

所在地 佐久市大字岩村田字中八日町
3121-3・15、3122-4

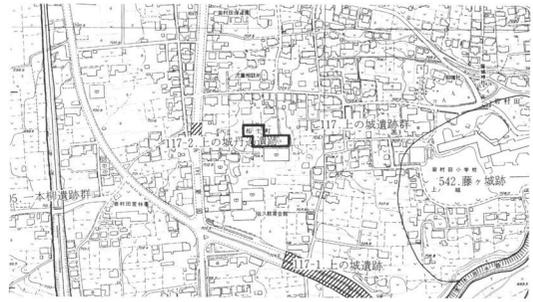
開発主体者 ミヤモリ不動産(株)

開発事業名 宅地造成事業

調査期間 平成14年6月25日～27日

面積 161.81m² (開発面積1,084m²)

調査担当者 出澤 力



上の城遺跡群 8 位置図 (1 : 10,000)

経過と結果

本遺跡は岩村田市街地の中に位置する。周辺には現在は岩村田小学校となっているが近世城郭藤ヶ城址があり、南東を走る湯川に面した河岸段丘上や、また岩村田市街地には多くの遺跡群が存在する。本遺跡群内で昭和48年度に調査された上の城遺跡では古墳から平安時代の住居址49軒が発見されており、また平成14年には今回対象地のすぐ東方、藤ヶ城の縄張り内に位置する上ノ城遺跡の発掘調査では縄文時代の落とし穴、古墳と奈良時代の住居址、中世の火葬墓、堀跡などが発掘されている。

今回、ミヤモリ不動産(株)により宅地造成事業が計画され、対象地内の遺構・遺物の有無を確認するため試掘調査が実施されることとなった。

調査区内にトレンチを9本設定し、遺構・遺物の確認を行った。地表下30～50cmのローム層まで掘り込み調査を行ったが、遺構・遺物ともに発見されなかった。



上の城遺跡群 8 調査全体図 (1 : 1,000)

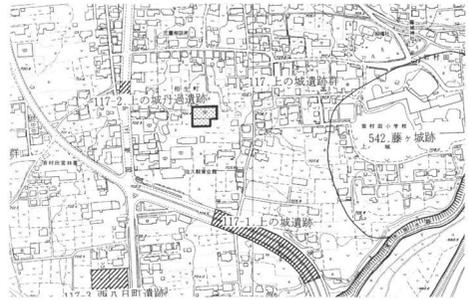


調査風景 (左：西から・右：南から)

試掘調査

19 上の城遺跡群 9

所在地 佐久市大字岩村田字中八日町
3120-1、3119-1、2826-1
開発主体者 ミヤモリ(株)
開発事業名 宅地造成事業
調査期間 平成14年6月25日～27日
面積 187.25m² (開発面積1,111m²)
調査担当者 出澤 力



上の城遺跡群 9 位置図 (1:10,000)

経過と結果

本遺跡は岩村田市街地の中に位置する。周辺には現在は岩村田小学校となっているが近世城郭藤ヶ城址があり、南東を走る湯川に面した河岸段丘上や、また岩村田市街地には多くの遺跡群が存在する。今回調査対象地はミヤモリ不動産(株)が行った宅地造成事業の対象地の北側に隣接している。

今回、ミヤモリ不動産(株)により宅地造成事業が計画され、対象地内の遺構・遺物の有無を確認するため試掘調査が実施されることとなった。

調査区内にトレンチを4本設定し、遺構・遺物の確認を行った。地表下40～60cmのローム層まで掘り込み調査を行ったが、土師器、須恵器の破片数点を認めるのみで、遺構は発見されなかった。



上の城遺跡群 9 調査全体図 (1:1,000)

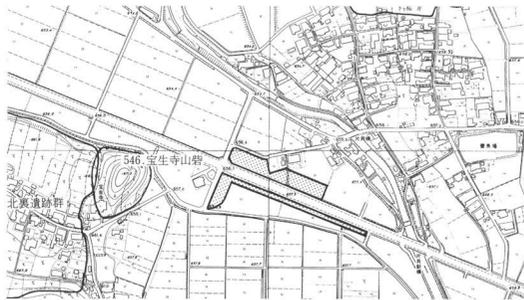


調査状況 (左:東から・右:東から)

試掘調査

20 未周知

所在地 佐久市大字伴野字豆生田1113-9他
開発主体者 佐久建設事務所
開発事業名 道路改良
調査期間 平成14年7月1～4・23・24日
面積 1,130m² (開発面積5,337.95m²)
調査担当者 三石 宗一



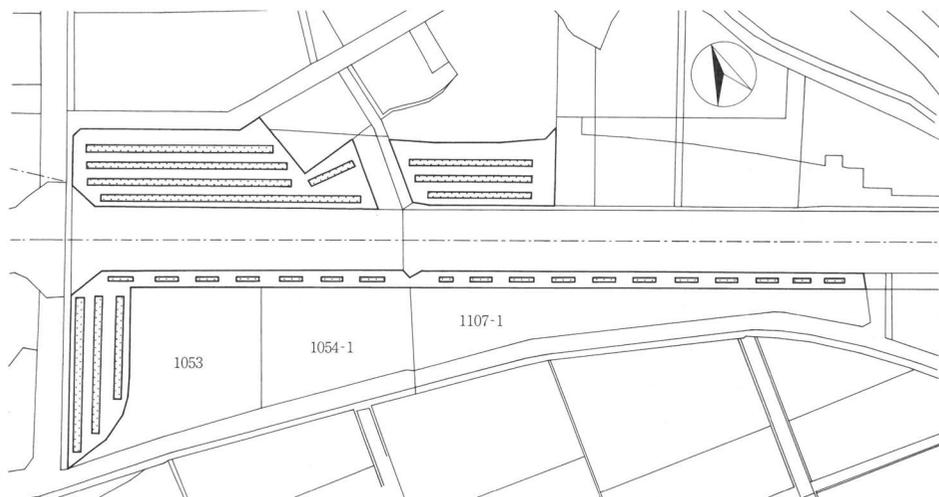
調査対象地位置図 (1 : 10,000)

経過と結果

本調査地は埋蔵文化財包蔵地として未周知であり、千曲川・片貝川左岸の氾濫源沖積地西端部に位置し、周辺は圃場整備が終了した水田地帯が広がり有数の穀倉地帯となっている。東方の微高地上には平馬塚遺跡群・跡部儘田遺跡群・三千束遺跡群・中道遺跡等が存在しており、昭和40年代に行われた圃場整備事業に伴い市道遺跡・儘田遺跡・三塚町田遺跡・跡部町田遺跡などの発掘調査が行われ、その後、国道141号バイパス建設・民間開発などにより寺添遺跡・宮添遺跡・中道遺跡をはじめとする古墳時代以降の遺跡が調査されている。また、南西の立科山塊からのびる丘陵上や扇状地には縄文・弥生時代の遺跡がみられ、沖積地上に展開する遺跡とは対照的な分布を示している。縄文時代の遺跡には中村遺跡、瀧の下遺跡などがあり、弥生時代の遺跡では後沢遺跡、西裏・竹田峯遺跡などが調査されている。

今回、佐久建設事務所により中部横断自動車道佐久南インター出口建設に伴う道路改良事業が計画されたため、遺構の有無を確認するため試掘調査を実施した。

調査は対象地である国道142号の両側について重機により東西方向に9本、南北方向に3本のトレンチを掘り下げて遺構の確認を行った。調査の結果、地表下40～80cmで砂礫層・黄褐色粘質土層に達したが、遺構・遺物ともに確認されなかった。



調査全体図 (1 : 1,000)

試掘調査

21 長明塚遺跡(隣接) 4

所在地 佐久市大字野沢字五反田326-4・5
開発主体者 廣岡 右橋
開発事業名 集合住宅建設
調査期間 平成14年7月26・29日
面積 210m² (開発面積1,255m²)
調査担当者 三石 宗一



長明塚遺跡(隣接) 4位置図 (1:10,000)

経過と結果

長明塚遺跡は野沢平のほぼ中央に位置し、標高は672m内外を測る。この地域は千曲川と片貝川とに挟まれた帯状の微高地が形成されており、この微高地上に多くの遺跡が存在している。

本遺跡付近では今までに平成5年度・7年度に試掘調査が行われており、弥生時代の土器とともに溝跡1条が検出されている。

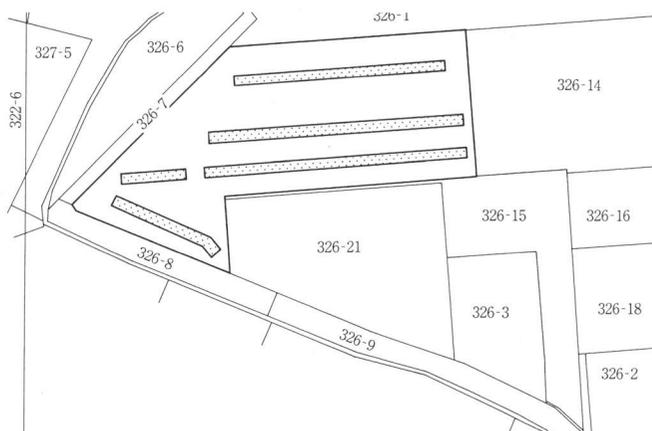
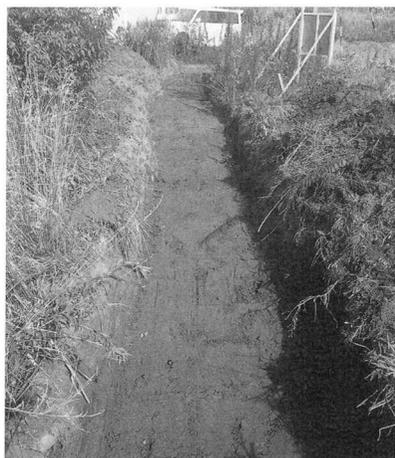
また、西側の薊沢遺跡では昭和62・63年度に発掘調査が行われ、奈良時代から平安時代の竪穴住居址7棟等が調査されている他、野沢中学校の改築に伴い平成14年度に調査された東五里田遺跡では奈良時代の竪穴住居址2棟、掘立柱建物址2棟等が調査されている。

今回、廣岡右橋氏により集合住宅建設が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を実施した。

調査は東西方向のトレンチを5本掘り下げ遺構の確認を行った。

本調査区は千曲川と片貝川に挟まれた沖積地に位置しており、地表下約50cmで遺構確認面である灰黄褐色砂質土に達した。

調査の結果、遺構・遺物ともに検出されなかった。



調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

22 寺畑遺跡群10

所在地 佐久市大字猿久保字前原776-1
開発主体者 有限会社 新栄開発
開発事業名 宅地造成
調査期間 平成14年7月30日
面積 288.6m² (開発面積1,018m²)
調査担当者 須藤 隆司



寺畑遺跡群10位置図 (1:10,000)

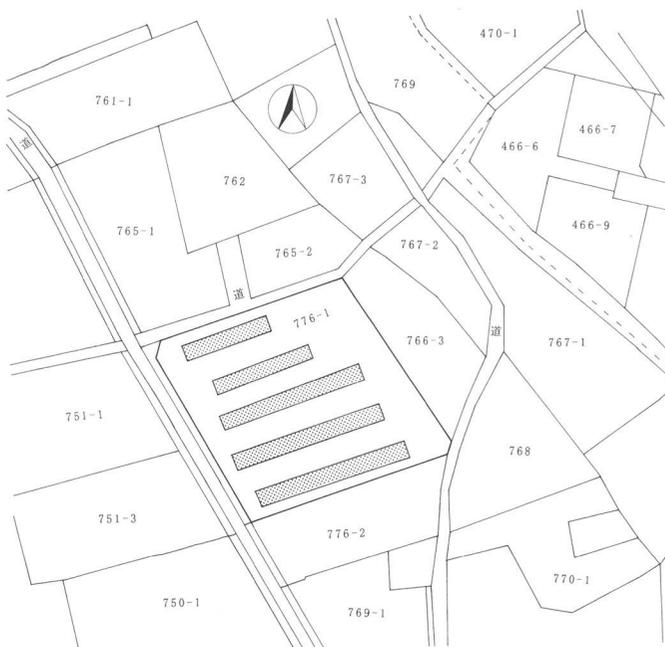
経過と結果

寺畑遺跡群は浅間山の東裾から流出し極端な蛇行曲流の河川である湯川左岸の第1河岸段丘上に展開する縄文時代から平安時代までの複合遺跡である。

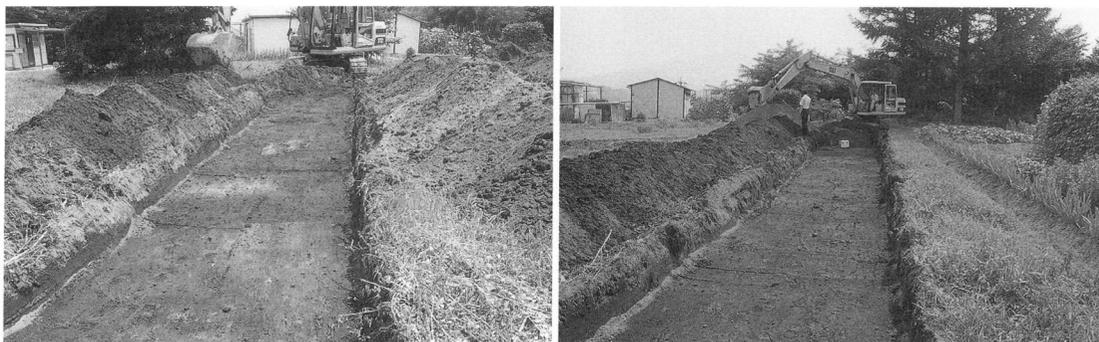
特に平成7年度の道路整備事業に伴う調査では、縄文時代草創期の爪形文土器と搔器などの石器群が良好な状態で検出され注目されている。

今回、有限会社新栄開発による宅地造成が遺跡群内に計画されたため、試掘調査を実施した。

調査はトレンチ5本を東西方向に設定して、遺構・遺物の確認作業を行ったが、調査地点の耕作土下は厚い砂層の堆積であり、遺構・遺物共に存在しなかった。



寺畑遺跡群10調査全体図 (1:1,000)



試掘トレンチ (西から)

試掘調査

23 円正坊遺跡群 6

所在地 佐久市大字岩村田字田中1322-2、他2筆
開発主体者 ㈱平和不動産
開発事業名 宅地造成事業
調査期間 平成14年7月26日
面積 250㎡（開発面積1,271㎡）
調査担当者 出澤 力



円正坊遺跡群 6 位置図 (1 : 10,000)

経過と結果

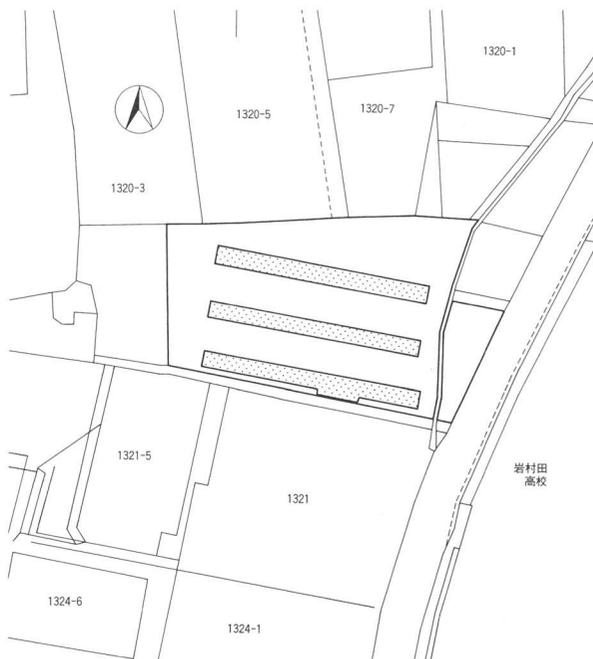
本遺跡は岩村田地籍、小海線岩村田駅の南西に位置する。本遺跡内、現在の岩村田駅構内では昭和5年に発掘調査が行われ考古学史において由緒ある遺跡と言える。昭和59年、平成8年、平成11年～15年と、本遺跡内では駅周辺の開発の進捗に伴い多くの発掘調査が行われており、弥生～平安時代の集落址が非常に遺構の密集した状態で発見されている。また、円正坊遺跡周辺で調査された遺跡には、地震により土層が水平方向にスライドした状態が確認されている。

今回、㈱平和不動産により宅地造成事業が計画され、対象地内の遺構・遺物の有無を確認するため試掘調査が実施されることとなった。

調査区内にトレンチを3本設定し、遺構・遺物の確認を行った。地表下60～100cmのローム層まで掘り込み調査を行ったが、弥生土器、土師器、須恵器と言った遺物の破片数点を認めるのみで、遺構は発見されなかった。当対象地では水害等水の作用によって土砂が移動した痕跡が認められ、出土した遺物についても土砂によって流れ込んできたものである可能性がある。遺構が確認される今回対象地の北側に比して対象地は地形的に一段低くなり、集落は対象地付近の低地部分に展開しないことが想定される。



調査状況 (東から)

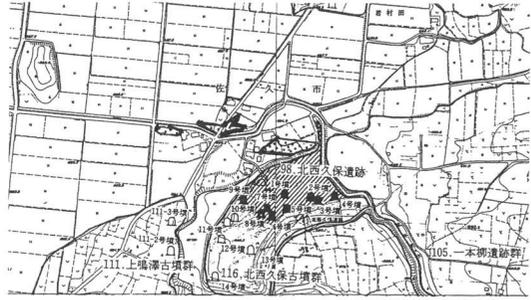


円正坊遺跡群 6 調査全体図 (1 : 1,000)

試掘調査

24 一本柳遺跡群(隣接)11

所在地 佐久市大字岩村田下砂田1680他
調査委託者 佐久市土木課
開発事業名 市道11-1号線道路工事
調査期間 平成14年7月1日～7月3日
面積 150m² (開発面積2,983.60m²)
調査担当者 森泉かよ子



一本柳遺跡群(隣接)11位置図(1:10,000)

経過と結果

本遺跡は一本柳遺跡群の北西にあたり、一部住宅を除き水田地帯となっている。佐久市が市道を建設するにあたり、試掘調査を行った。道路用地は常木用水やその支流が入り組んでいるため、試掘トレンチは数多く入れられなかった。

試掘調査の結果、1680-1地点に黒色範囲が2カ所検出された。遺物は出土しなかった。また2376-2地点のトレンチ東端からは近代陶器片が出土している。



一本柳遺跡群(隣接)11調査全体図(1:1,500)

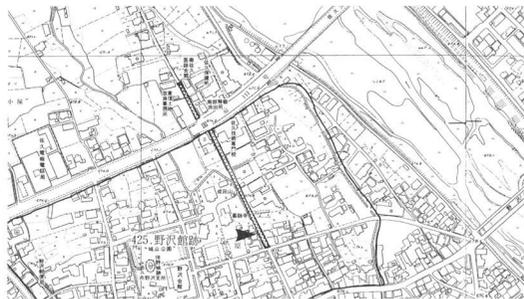


2376-2地点トレンチの状況

試掘調査

25 野沢館跡 6

所在地 佐久市大字原498-1、他55筆
開発主体者 佐久市（都市計画課）
開発事業名 道路建設事業
調査期間 平成14年8月2日
面積 35.6m²（開発面積4,950m²）
調査担当者 出澤 力



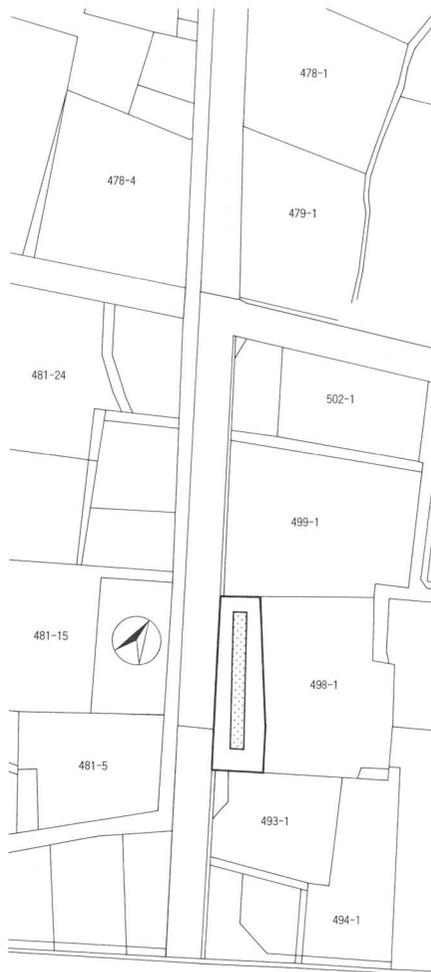
野沢館跡 6 位置図（1：10,000）

経過と結果

本遺跡は原地籍に所在する。標高675m内外を測る千曲川左岸に広がる河岸段丘上に展開する平安時代から中世にあたる居館址で、主郭部分は昭和40年に「伴野城跡」として長野県史跡に指定されている。調査区の北方で平成3年度に実施された野沢館跡Ⅰ・Ⅱでは中世の土坑・柱穴址・石組遺構等が検出されている。また、平成11年度に薬師寺遺跡、平成13年度に野沢館跡Ⅲの発掘調査が行われ、薬師寺遺跡では近世の寺院と中世の園池、野沢館跡Ⅲでは土坑・柱穴址が、また平成14年度には県史跡伴野城跡内で発掘調査があり土塁の構築方法やその時期、堀のプランや虎口の形状などが確認されている。

今回、佐久市都市計画課が行う道路建設事業に伴い、遺構遺物の有無を確認するため全開発対象地に対して一部分のみ先だてて試掘調査が行われることとなった。

調査区内にトレンチを設定し、遺構・遺物の確認を行った。地表下80cmまで掘り込み調査を行ったが、当対象地は近年の攪乱が深く入り、遺構・遺物は発見されなかった。



野沢館跡 6 調査全体図（1：1,000）

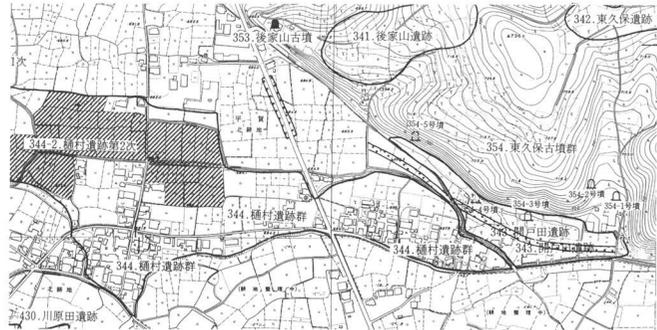


調査状況（北から）

試掘調査

26 開戸田遺跡 1

所在地 佐久市大字内山～平賀
開発主体者 佐久建設事務所
開発事業名 道路築造
調査期間 平成14年8月30日、9月2日、
10月7～11日・29日
調査面積 860m² (開発面積33,000m²)
調査担当者 上原 学



開戸田遺跡 1 位置図 (1 : 10,000)

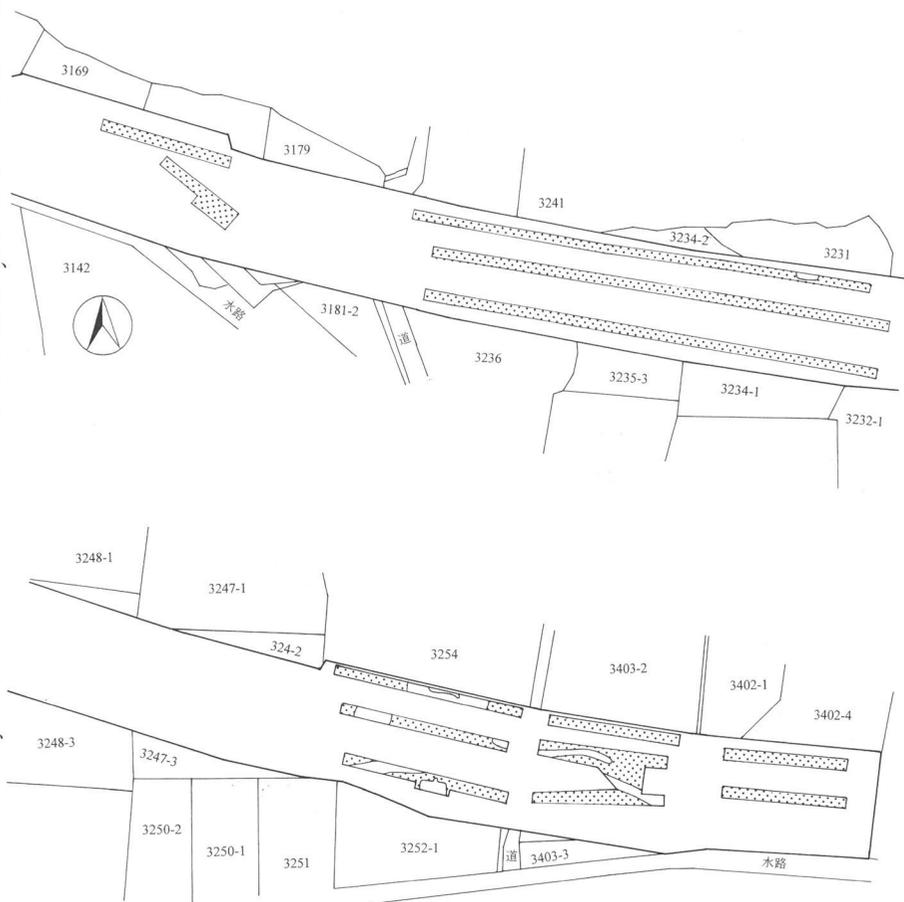
経過と結果

遺跡は平賀地積の東方から舌状に張り出した後家山丘陵南麓に沿った微高地上に位置する。標高は689m内外を測る。開戸田遺跡周辺では昭和49年に後家山丘陵東端の後家山古墳、平成13年度からは後家山丘陵尾根上の緩斜面に展開する後家山遺跡、東大久保遺跡、東大久保古墳群1号墳など多くの調査が行われている。

今回、佐久建設事務所による道路建設工事(平賀バイパス)が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を実施した。

調査は重機により、道路建設予定地内に東西方向のトレンチ13本を設定し、遺構の確認を行った。その結果、古代の住居址と考えられる落ち込みが多数認められ、周辺から土師器片が

多数出土した。このため開発主体者と協議を行い、遺構の記録保存を目的として発掘調査を行う運びとなった。また、調査区西端では交差点設置に伴う水路設置工事が行われ、立会調査を実施した結果、土層断面に住居址と考えられる落ち込み及び多くの遺物が認められたことから、断面図作成及び遺物の取り上げ作業を行った。



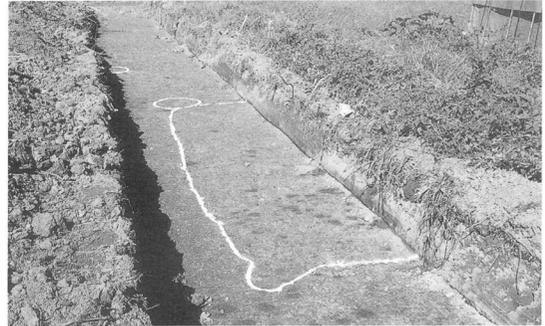
開戸田遺跡 1 調査全体図 (1 : 1,000)



調査状況（西から）



調査状況（西から）



遺構検出状況（東から）



遺構検出状況（東から）

試掘調査

27 筒畑遺跡群 1

所在地 佐久市大字安原字筒畑822-1、822-2
開発主体者 株式会社エム・エス・ケイ
開発事業名 宅地造成（事務所・倉庫・駐車場）
調査期間 平成14年9月4・5日
調査面積 550m²（開発面積3,285.11m²）
調査担当者 上原 学



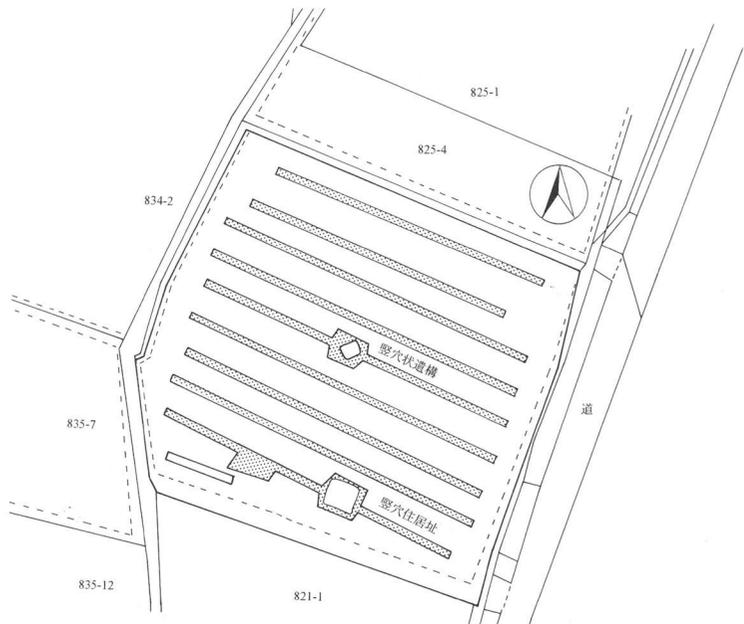
筒畑遺跡群 1 位置図 (1:10,000)

経過と結果

遺跡群は湯川左岸の、浅間の麓から放射状にのびる田切り地形の標高706~718mを測る台地上に展開する。調査対象地は遺跡群北端に隣接する地域である。

今回、株式会社エム・エス・ケイによる宅地造成事業（事務所・倉庫・駐車場建設）が行われることとなり、遺構の有無を確認するために試掘調査を実施した。

調査は重機により、東西方向のトレンチ10本を設定し、表土から30cm内外掘り下げた黄褐色土ローム土上面において遺構の確認を行った。その結果、調査区の大半は切り土し、やや低地となる西及び南端に埋土整地していることが認められた。遺構は調査区中央付近から竪穴状遺構と思われる方形の掘り込み及び、南端から南東にカマドを持つ住居址が検出された。遺物は出土しなかった。



筒畑遺跡群 1 調査全体図 (1:1,000)

開発事業は盛り土であり、遺構への影響がないと考えられることから検出した住居址・竪穴状遺構は埋土保存とし、工事を開始した。



住居址検出状況 (西から)

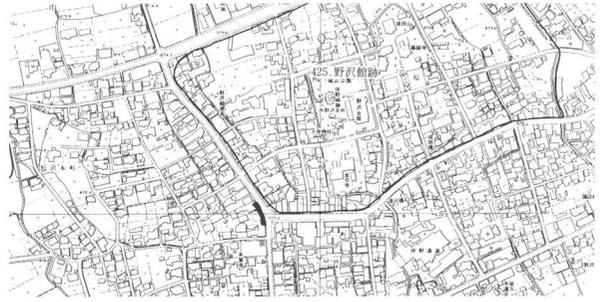


調査状況 (東から)

試掘調査

28 野沢館跡(隣接) 7

所在地 佐久市大字野沢40-9、41-1、42-4
開発主体者 佐久建設事務所
開発事業名 県単緊急地方道路整備(街路)事業
調査期間 平成14年9月23日
調査面積 20m²(開発面積130m²)
調査担当者 上原 学



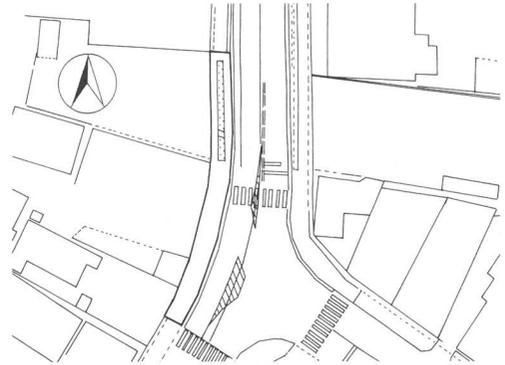
野沢館跡(隣接) 7位置図(1:10,000)

野沢館跡は佐久市原地積に位置し、遺跡内には現在80×110mほどの方形の堀と土塁が残存する伴野城跡が所在し、土塁内には大伴神社が鎮座する。調査区は館跡の南西端にほぼ隣接する。今回、佐久建設事務所による県単緊急地方道路整備事業が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

調査は重機により、南北方向のトレンチ1本を設定し、遺構の確認を行った。その結果、調査可能範囲は近年の建造物解体時における攪乱を受けており、旧建造物の排水溝と考えられる石組みが僅かに残存していたのみであった。他の遺構・遺物は認められなかった。石組については図面作成、写真撮影を行い、その後トレンチの埋め戻しを行った。



旧水路石組(西から)



野沢館跡(隣接) 7調査全体図(1:1,000)



調査区全景(南から)



調査状況(南から)

試掘調査

29 周防畑遺跡群13

所在地 佐久市大字長土呂字向畑1157-1、1156-1
開発主体者 ナコー開発株式会社
開発事業名 宅地造成
調査期間 平成14年9月25・26日
調査面積 320m²（開発面積1,938m²）
調査担当者 上原 学

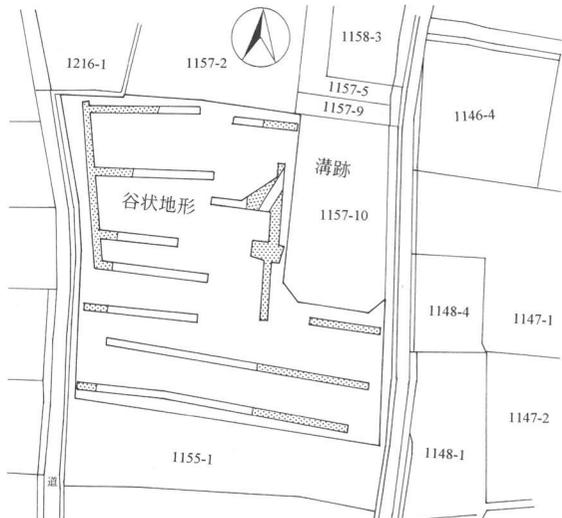


周防畑遺跡群13位置図（1：10,000）

経過と結果

遺跡は佐久市長土呂地積にあり、南北方向に細長い田切り地形の台地上に展開する。標高703～753mを測る。遺跡群内では南端の周防畑B遺跡、遺跡群を横切る国141号線北の周防畑A遺跡、南の若宮遺跡、南近津遺跡の調査が行われ、多くの遺構が発見されている。また、遺跡群内は佐久市で唯一古代の布目瓦が採取できる地域であり、注目されている。調査地域は国道141号線の南若宮遺跡・南近津遺跡の南東150m付近に位置し、標高は710m内外を測る。今回、ナコー開発株式会社による宅地造成が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

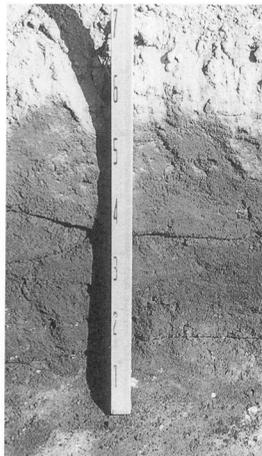
調査は重機により東西方向のトレンチ10本、南北方向のトレンチ2本を設定し、表土下60cm内外のローム土上面で遺構の確認を行った。その結果、調査区北東端から南西方向にのびる溝跡1条（幅1m内外、深さ5～20cm）を確認した。溝跡は小規模であることから掘り下げた後図面作成を行った。遺物は遺構内から土師器・須恵器・灰釉陶器片が数片出土した。なお調査区内から南北方向にのびる幅25m内外、深さ1.5m以上の谷状地形が認められたことから、以前、調査地域一帯は低地帯であったと考えられる。



周防畑遺跡群13調査全体図（1：1,000）



溝跡全景（南から）



土層断面



調査状況（南から）

試掘調査

30 東大久保遺跡群(隣接) 3

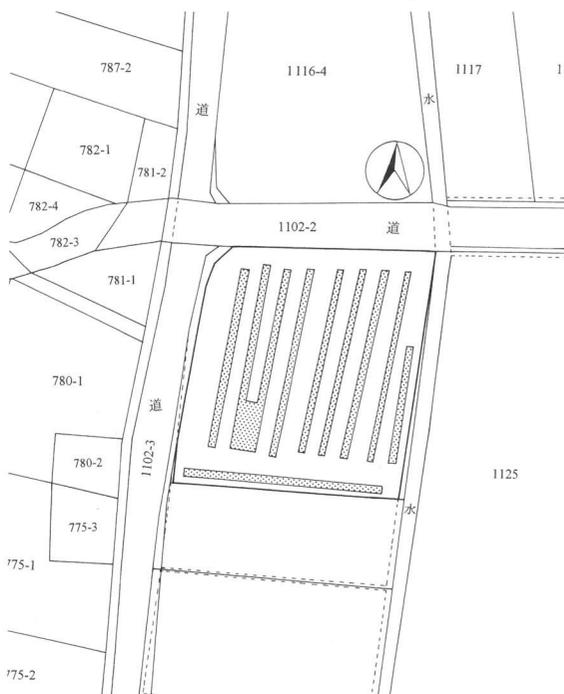
所在地 佐久市大字上平尾字与切112-1
 開発主体者 佐久市(排水対策課)
 開発事業名 農業集落排水資源循環統合補助事業
 調査期間 平成14年10月18日
 調査面積 270m²(開発面積1,283m²)
 調査担当者 上原 学



東大久保遺跡群(隣接) 3 位置図 (1:10,000)

経過と結果

遺跡は湯川と南北方向にのびる田切り地形に挟まれた細長い標高720~740mを測る台地上に展開する。調査対象地は遺跡群中央付近の東に隣接する地域で、標高は735mを測る。今回、佐久市排水対策課による農業集落排水資源循環統合補助事業が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を実施した調査は、重機による南北方向のトレンチ9本、東西方向のトレンチ1本を設定し、遺構の確認を行った。その結果、遺構・遺物は認められなかった。なお、遺構の検出は厚さ30~40cmを測る強粘性の表土(田んぼ土)直下のローム土上面で行った。



東大久保遺跡群(隣接) 3 調査全体図 (1:1,000)



調査区全景(南から)



土層断面

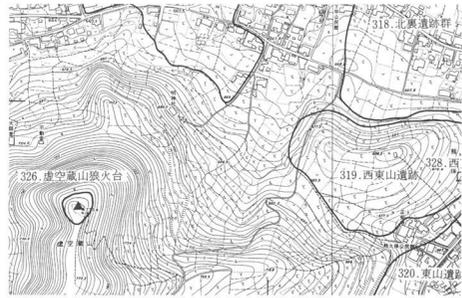


調査状況(南から)

試掘調査

31 虚空蔵山狼煙台 1

所在地 佐久市大字根岸字比良・高日影・宮脇
開発主体者 佐久市都市計画課
開発事業名 虚空蔵山自然のみち整備事業
調査期間 平成14年10月23・24日
面積 206m² (開発面積755m²)
調査担当者 小林 真寿



虚空蔵山狼煙台 1 位置図 (1 : 10,000)

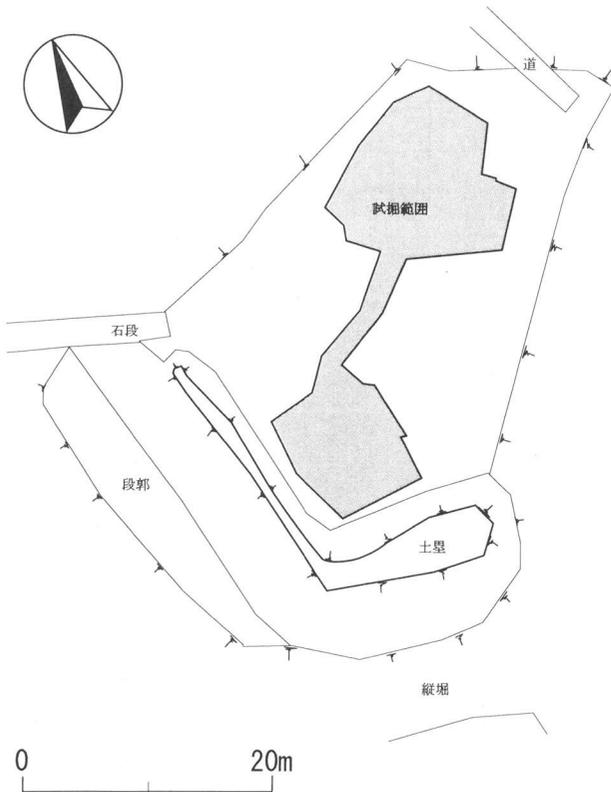
経過と結果

多福寺から虚空蔵山山頂に至る遊歩道を整備し、山頂に展望台を建設する、「自然のみち整備事業」が佐久市により計画されたため、試掘調査を実施し、現存する縦堀と土塁により区画された虚空蔵山狼煙台内部の遺構の有無を確認することとなった。

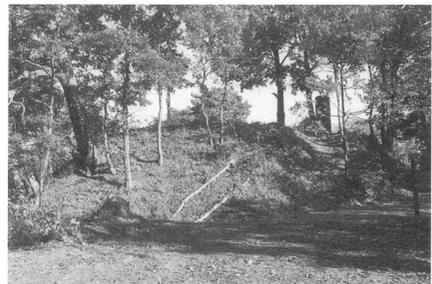
当該地には、昭和に焼失するまで現存した虚空蔵堂が所在しており、火災の痕跡と虚空蔵堂の礎石が確認され、更に土製の狐が少なからず出土したことから、稻荷社が虚空蔵堂の脇にまつられていたことが推測された。

土塁から離れた尾根端部に近い緩斜面下からは、中世の竪穴状遺構が階段状に3棟連なって尾根端部に向かい構築されているのが確認され、黒曜石製のナイフ等の旧石器も数点検出された。

展望台の建設予定地は竪穴状遺構のほぼ中央であるため、保護協議の結果、工事による破壊が危惧される部分について本調査を実施することとなった。



虚空蔵山狼煙台 1 全体図



土塁 (北から)

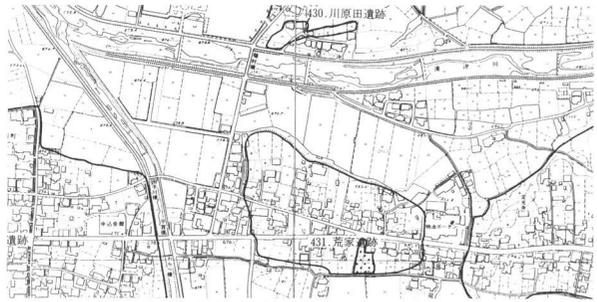


竪穴状遺構

試掘調査

32 荒家遺跡 2

所在地 佐久市大字平賀字前田1180-3、外5筆
開発主体者 セキスイハイム信越株式会社
開発事業名 宅地造成
調査期間 平成14年10月23日
調査面積 350m² (開発面積1,210.60m²)
調査担当者 上原 学



荒家遺跡 2 位置図 (1 : 10,000)

経過と結果

遺跡は北方を西流する滑津川と西側を北流し滑津川と合流する田子川に挟まれた沖積地上に立地する。調査対象地域は遺跡群中央付近を東西方向に横切る国道254号線南側に接する地域である。標高は681m内外を測る。今回、セキスイハイム信越株式会社による宅地造成が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を実施した。

調査は重機により南北方向のトレンチを6本設定し、遺構の確認を行った。その結果、東側の表土直下に堆積した黒色土・砂礫層からやや摩耗した土師器片が数片認められたが、遺構は確認できなかった。

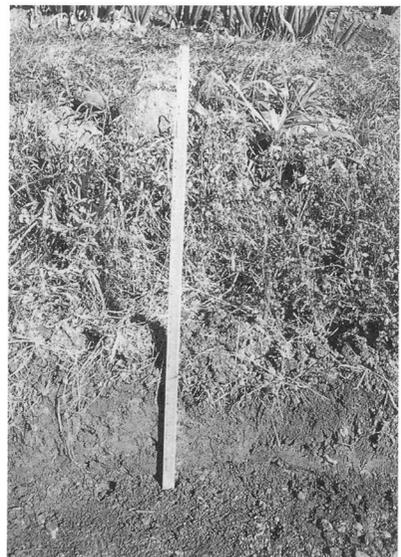
遺構の検出は東側は表土下30cm前後の砂礫層及びシルト質の黄褐色土上面で行い、西側はしだいに深さを増し、最深では1mを越えた。西側は東に比してやや低地となる。



荒家遺跡 2 調査全体図 (1 : 1,000)



調査風景 (南から)



調査区西側土層断面

試掘調査

33 西赤座遺跡11

所在地 佐久市大字岩村田字西赤座3653-1、3641-1
開発主体者 学校法人佐久学園
開発事業名 グランド造成工事
調査期間 平成14年10月22～10月30日
面積 900m²（開発面積4,849m²）
調査担当者 林 幸彦

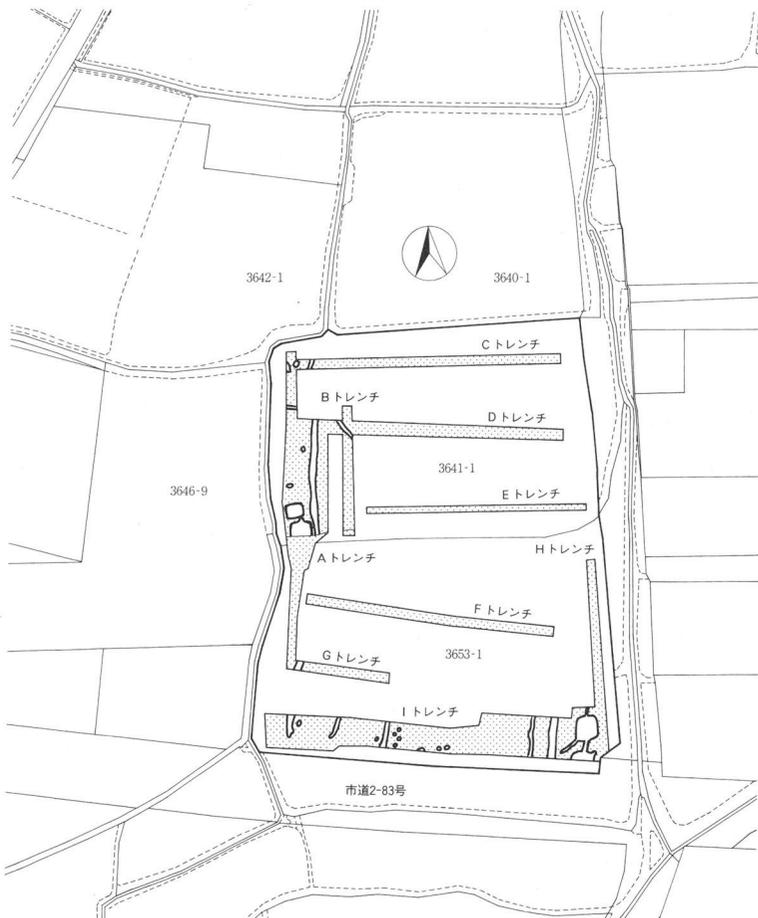


西赤座遺跡11位置図（1：10,000）

経過と結果

学校法人佐久学園が長聖中学校のグランド拡幅工事を計画したので、対象地に幅2～3mのトレンチを9本設定し、遺構の有無を調査した。表土下20～100cmで浅間第一軽石流（P1）に至った。竪穴住居址4軒（古墳時代後期～平安時代）、ピット15が検出された。遺物は、弥生時代後期土器、土師器、須恵器、灰彩陶器が出土した。

保護協議の結果、擁壁部分にかかる遺構を本調査することになった。他は1m～2mの盛り土がされる。



西赤座遺跡11調査全体図（1：1,000）



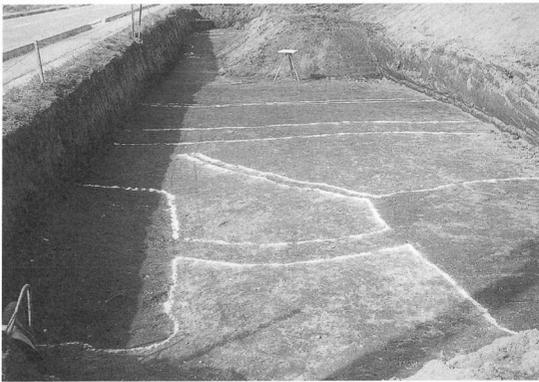
I トレンチ（西から）



G トレンチ（西から）



西赤座遺跡11調査近景 (北西から)



I トレンチ (東から)



A トレンチ (南から)



E トレンチ (西から)



C トレンチ (西から)

試掘調査

34 一本柳遺跡群12

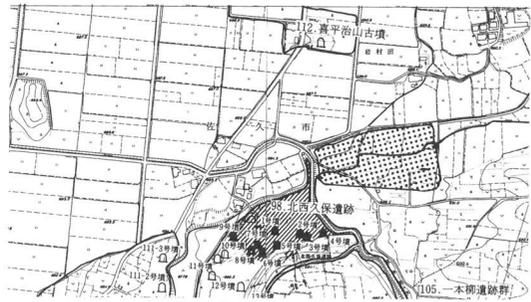
所在地 佐久市大字岩村田字下樋田1762他
調査委託者 東鉄工業株式会社
開発事業名 新店舗建設事業
調査期間 平成14年10月25日～10月29日
面積 200㎡（開発面積6,525㎡）
調査担当者 森泉かよ子

経過と結果

一本柳遺跡群は、佐久市岩村田地籍に所在し、東西方向に流れる湯川右岸の台地上にある。岩村田市街地の南西1km、標高690mを測り、浅間第1軽石流が地盤をなし田切り地形が発達している地点である。本遺跡群内では昭和43年には東一本柳遺跡が、また昭和46年度には金銅製馬具の飾り金具などを出土した東一本柳古墳が発掘されるなど多くの調査がなされ貴重な資料を得ている。平成4年の公共下水道事業に伴う西一本柳遺跡Ⅱ、また平成7・8年度の国道141号の工事に伴う西一本柳遺跡Ⅲ～Ⅴが調査され、密集した古代集落が発見されている。弥生時代中期から中世に至るまで連綿と人々の痕跡が残されている佐久市内でも有数の遺跡の一つである。

今回、東鉄工業株式会社により新店舗建設事業が計画され、試掘調査を行うこととなった。

調査の結果、南側台地部分に竪穴住居址、土坑などの遺構とともに弥生式土器・土師器・須恵器が発見された。協議の結果、埋土保存できる駐車場部分は埋土保存とし、排水溝並びに出入り口地点の遺跡の破壊される地点は、発掘調査を実施することとなった。



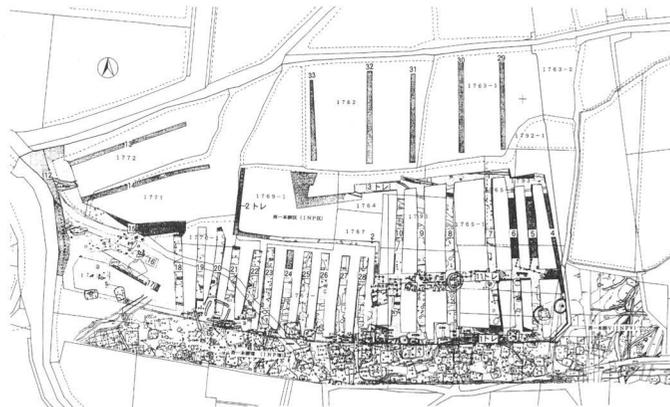
一本柳遺跡群12位置図（1：10,000）



一本柳遺跡群12南北トレンチ（南から）



東西トレンチ
（西から、1771番地地点）



一本柳遺跡群12トレンチ設定図（1：2,000）

試掘調査

35 東五里田遺跡 4

所在地 佐久市大字野沢字東五里田375-1
開発主体者 佐久市教育委員会 学校教育課
開発事業名 学校建設
調査期間 平成14年11月5～25日
面積 8,700㎡（開発面積17,753㎡）
調査担当者 富沢 一明



東五里田遺跡4位置図（1：10,000）

経過と結果

東五里田遺跡は佐久市の南方、野沢平のほぼ中央部に位置し、遺跡周辺の標高は673m内外を測る。

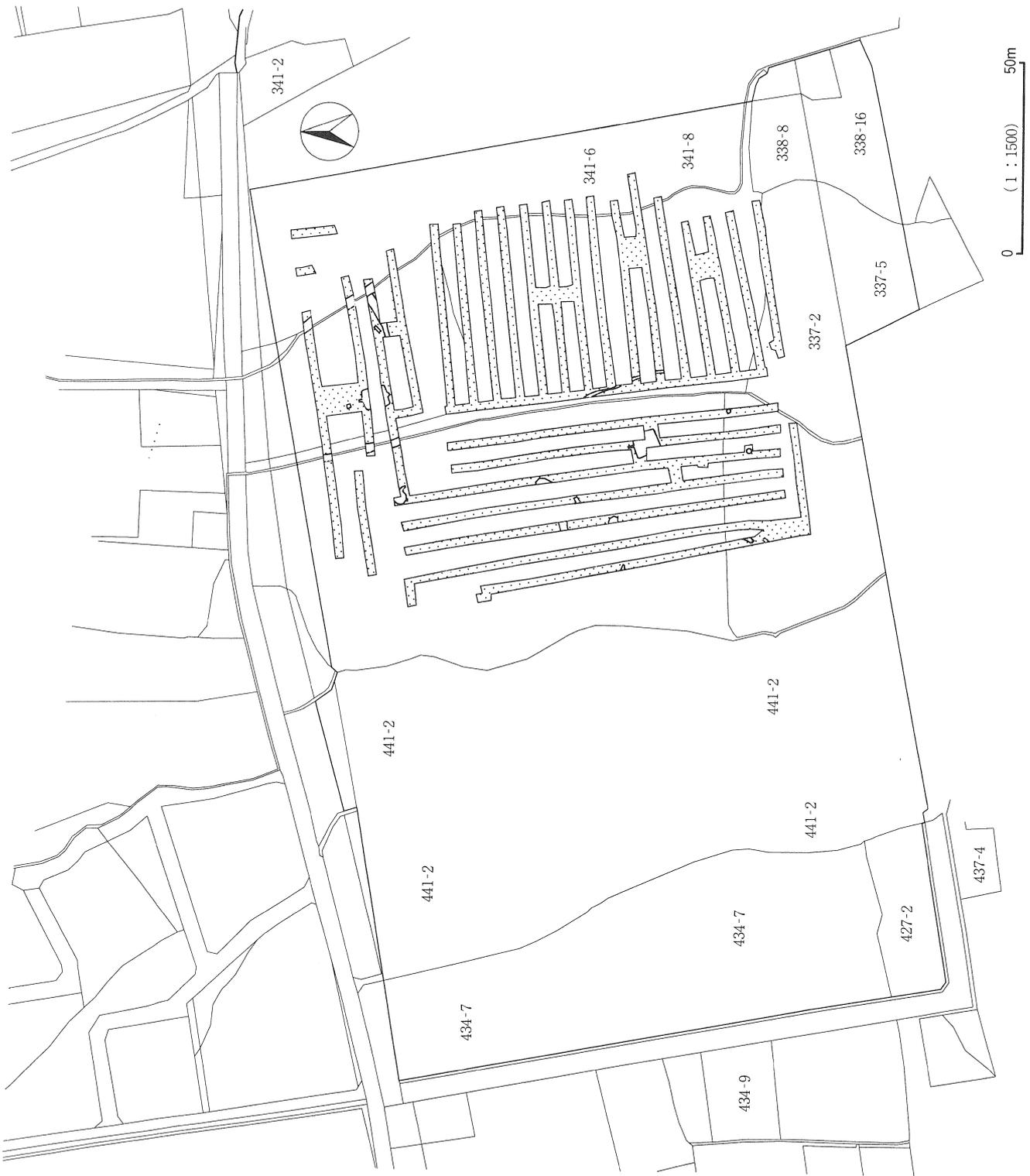
本遺跡群の発掘調査例としては、本遺跡の東方600mには中世館跡の状況が良好な状態で保存されている県指定史跡野沢館跡がある。近年公園整備に伴い、土塁に囲まれた主郭部分並びに堀と土塁の断ち割り調査が行われ、今まで詳細が不明であった館の成り立ち等、貴重な調査成果が得られた。また、周辺部では小規模な調査ではあるが、沖積微高地上に古墳時代中期後半～平安時代に及ぶ集落が発見されている。

現在まで、遺跡は市立野沢中学校グランドとして利用されてきたが、校舎老朽化に伴い、校庭側への校舎移転新築が計画され、試掘調査を行う事となった。

その結果、校庭西側を中心に竪穴状住居2棟（奈良）・溝状遺構・土坑・掘建柱建物址（中世）等が発出された。特に円形の土坑からは縄文晩期～弥生初頭と考えられる氷式土器と細密条痕文土器、か破片であるが発出された。

試掘調査の結果を受けて保護協議がなされ、記録保存を目的とする発掘調査を行うこととなった。





東五里田遺跡4 調査全体図 (1 : 1,500)

試掘調査

36 平賀城跡 5

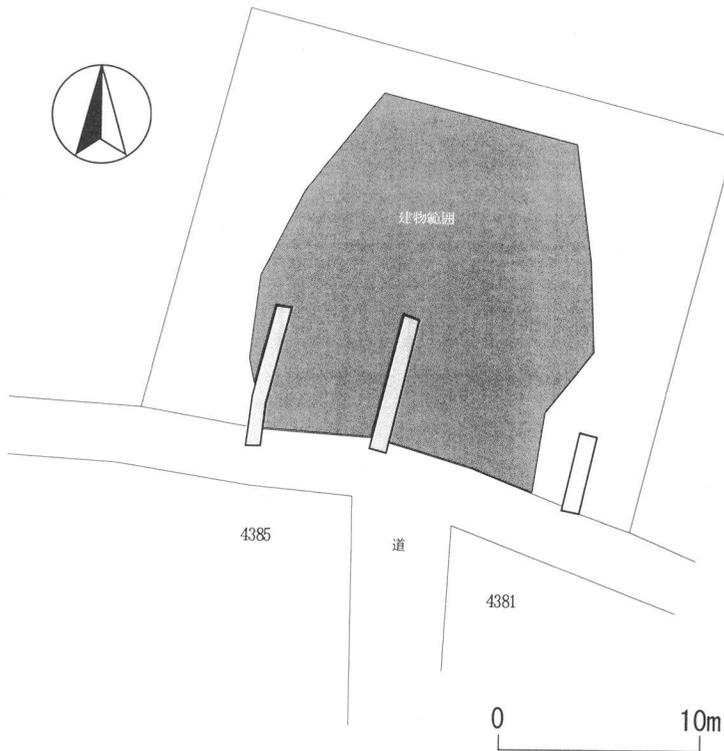
所在地 佐久市大字平賀字北谷津4354
開発主体者 大林寺住職 増田友厚
開発事業名 納骨堂建設
調査期間 平成14年11月11日
面積 153m² (開発面積972m²)
調査担当者 小林 真寿



平賀城跡5位置図 (1:10,000)

経過と結果

大林寺により平賀城跡の範囲内において納骨堂の建設が計画されたため、試掘調査を実施した。予定地は山腹の斜面であり、堀・土塁等は地表には認められなかった。更に、斜面に沿って3本のトレンチを掘削して遺構・遺物の検出を試みたが、存在しなかった。堆積土は腐葉土下に10YR6/4の土色を呈する約30cmの堆積土があり、その下は岩盤となる。



平賀城跡全体図

試掘調査

37 東立科A遺跡1

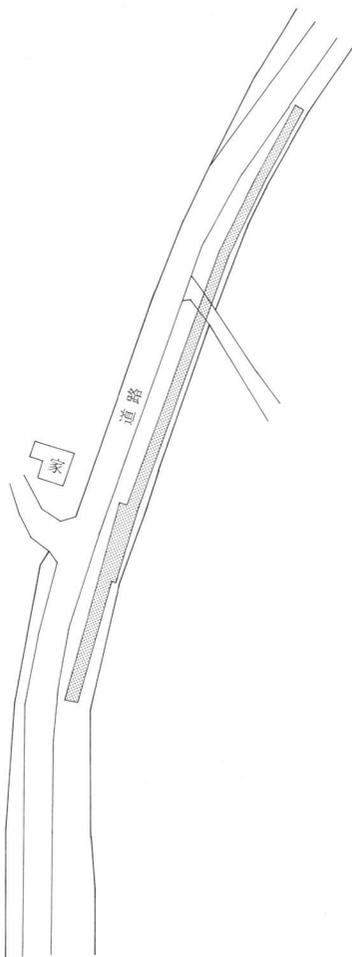
所在地 佐久市大字東立科字孤平824-1他
開発主体者 佐久市 土木課
開発事業名 道路改良
調査期間 平成14年11月18日～20日
面積 208㎡（開発面積16,965㎡）
調査担当者 須藤 隆司



東立科A遺跡1位置図（1：10,000）

経過と結果

弥生・古墳時代の遺物が採取されている東立科A遺跡隣接地に佐久市土木課が辺地対策道路整備事業を計画したため、遺跡の広がりが予測される道路拡幅部に下図のようにトレンチ1本を設定して、遺構・遺物の確認調査を実施したが、調査地点は傾斜地と低地からなり、遺構・遺物は確認されなかった。



試掘調査トレンチ（1：1,000）



試掘トレンチ（南から）



試掘トレンチ（北から）

試掘調査

38 西裏遺跡群 1

所在地 佐久市大字伴野947-1
開発主体者 清水秀昭
開発事業名 工場建設
調査期間 平成14年12月20・21日
面積 145㎡（開発面積1,191㎡）
調査担当者 富沢 一明

経過と結果

西裏遺跡群は蓼科山麓の山裾が北に延びた丘陵突端に所在する遺跡群である。標高は665m内外を測り、主に畑地として利用されている。

本遺跡群の発掘調査例としては、西裏・竹田峯遺跡があり、弥生時代後期、古墳時代中期、平安時代のそれぞれの住居址と共に弥生時代後期の壺棺墓が検出され、棺内より幼児骨とカラス小玉・管玉が出土した。

今回、清水秀昭により遺跡内に工場建設が計画され、教育委員会により、遺構の有無を確認するため試掘調査を実施した。

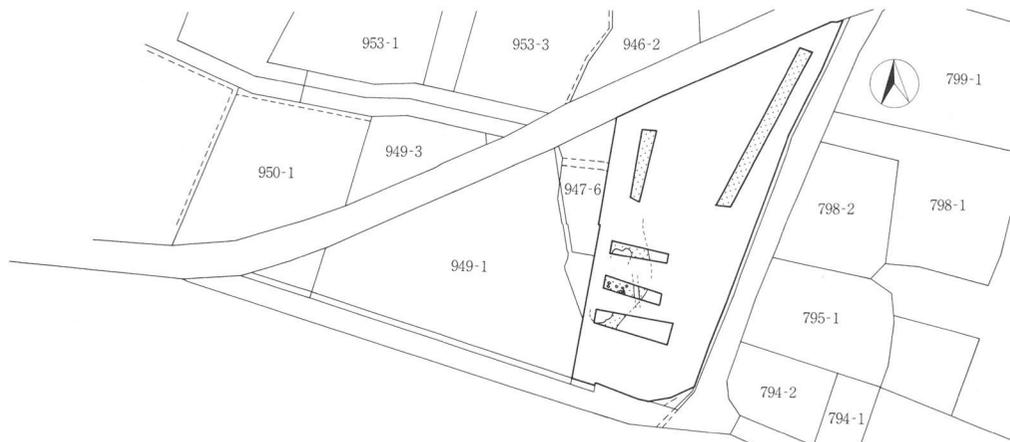
開発対象地に4本のトレンチを設定し試掘調査を行った。

その結果、調査区南側において中世の所産と考えられる竪穴状遺構2棟・溝状遺構1本・ピット11基が検出された。これら遺構からは、中世陶磁器類が少量出土した。また、東側に広がる埋没谷からは弥生時代後期の土器を中心に遺物が出土した。

試掘調査の結果を受けて保護協議がなされ、遺構に影響の無い部分への建物位置の変更がなされ、工事が行われた。



西裏遺跡群 1 位置図 (1 : 10,000)



西裏遺跡群 1 調査全体図 (1 : 1,000)

試掘調査

39 中久保田遺跡 7

所在地 佐久市大字岩村田字枇杷坂971
開発主体者 (株)大勝田開発
開発事業名 宅地造成
調査期間 平成14年12月25日
面積 66m² (開発面積1,943m²)
調査担当者 富沢 一明



中久保田遺跡 7 位置図 (1 : 10,000)

経過と結果

中久保田遺跡は岩村田市街地の北西、南北に延びる小田切地形内に存在する。周辺の標高は722m内外を測る。

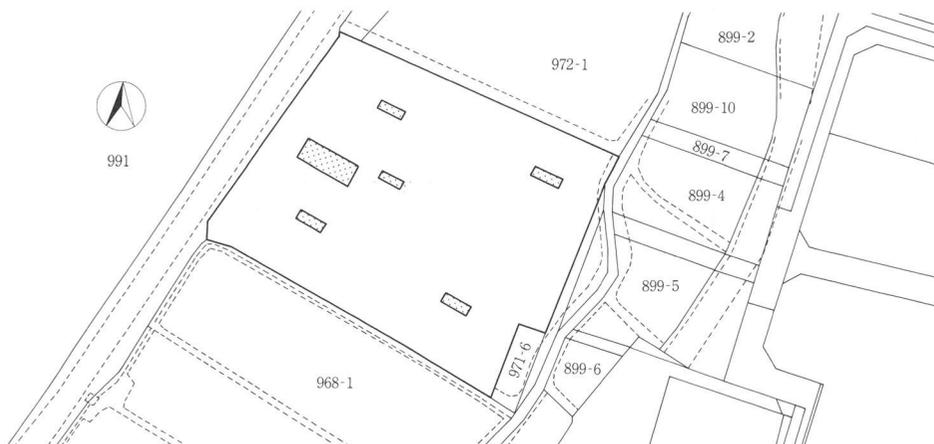
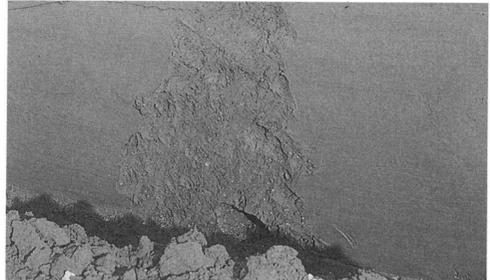
本遺跡付近の発掘調査例としては、焼失した屋内に特異な埋葬墓を持ち、遺骨と共に15本の銅釧が出土した遺跡として著名な上直路遺跡や弥生中期から後期への過渡的な土器が一括出土した直路遺跡等がある。

今回、株式会社 大勝田開発により宅地造成が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を実施した。

調査は湿田ということもあり、東西方向の拵掘りを計6カ所行った。

その結果、地表下140cmで水性ローム層が確認された。遺構は検出されなかったが、水性ローム層直上で一部泥炭層が検出され、自然流木に混ざって弥生後期土器片と木製品が出土した。

本結果を受けて、協議なされ遺物に影響の無いように埋土保存し、工事が行われた。



中久保田遺跡 7 調査全体図 (1 : 1,000)

試掘調査

40 中原遺跡群26

所在地 佐久市大字中込字中原3639-35
開発主体者 株式会社 ニチイ学館
開発事業名 老人福祉施設建設
調査期間 平成14年12月25日
面積 120m² (開発面積1,160m²)
調査担当者 林 幸彦



中原遺跡群26位置図 (1:10,000)

経過と結果

(株)ニチイ学館が中原遺跡群内において、老人福祉施設建設を計画したので、試掘調査を実施した。

調査対象地に幅1mのトレンチを東西に3本設定し、遺構の有無を調査した。

表土下30~50cmで黄褐色の湯川層に達した。遺構遺物とも検出されなかった。



調査状況 (東から)



中原遺跡群26調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

41 宮の後遺跡 3

所在地 佐久市大字岩村田字宮の後1919
開発主体者 株式会社 平和不動産
開発事業名 宅地造成
調査期間 平成14年12月6日
面積 50m² (開発面積2,063m²)
調査担当者 林 幸彦



宮の後遺跡3位置図 (1:10,000)

経過と結果

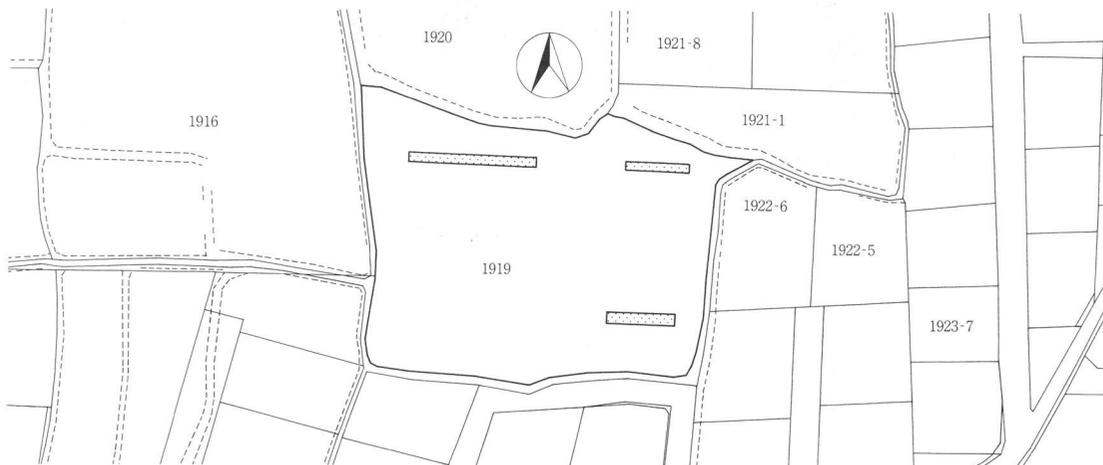
株式会社平和不動産が宮の後遺跡内において、宅地造成を計画したので、試掘調査を実施した。調査対象地に幅1mのトレンチを東西に3本設定し、遺構の有無を調査した。現水田面に約1mの客土がさされていた。客土の下130~150cmで黄褐色の浅間第一軽石流(P1)に至った。遺構遺物とも検出されなかった。



対象地近景 (南東から)



調査状況 (東から)



宮の後遺跡3調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

42 上の原遺跡群 2

所在地 佐久市大字横根字上の原241-1、242、251-1
開発主体者 有限会社 田園不動産
開発事業名 宅地造成
調査期間 平成14年12月26日～27日
面積 130㎡（開発面積2,290㎡）
調査担当者 林 幸彦



上の原遺跡群 2 位置図 (1:10,000)

経過と結果

有限会社田園不動産が上の原遺跡群内において、宅地造成を計画したので、試掘調査を実施した。調査対象地に幅1mのトレンチを東西に4本設定し、遺構の有無を調査した。

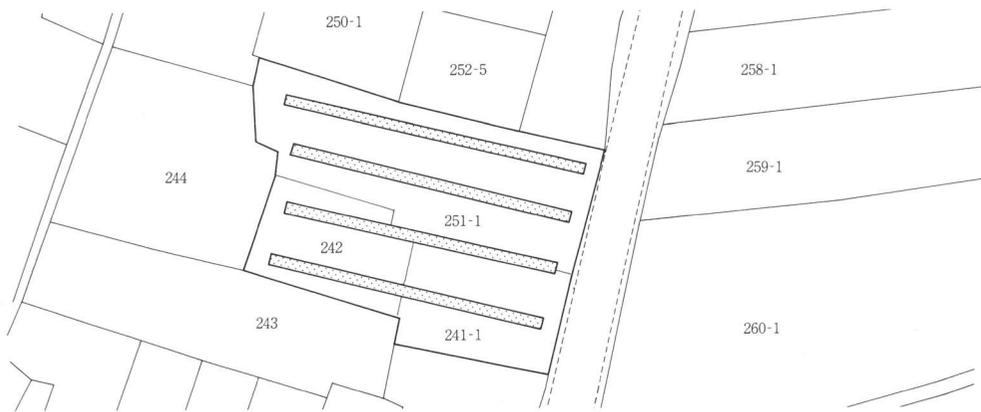
表土下40～50cmで黄褐色の浅間第一軽石流（P1）に至った。遺構遺物とも検出されなかった。



対象地近景（南東から）



調査状況（東から）

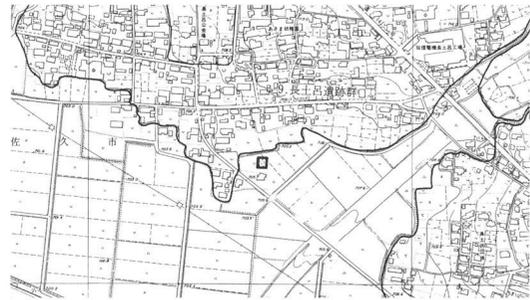


上の原遺跡群 2 調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

43 長土呂遺跡群 9

所在地 佐久市大字長土呂1480-2 (仮換地12-2)
開発主体者 上田 昭
開発事業名 長屋住宅建設事業
調査期間 平成15年1月21・22日
面積 88.2m² (開発面積847m²)
調査担当者 出澤 力



長土呂遺跡群9位置図 (1:10,000)

経過と結果

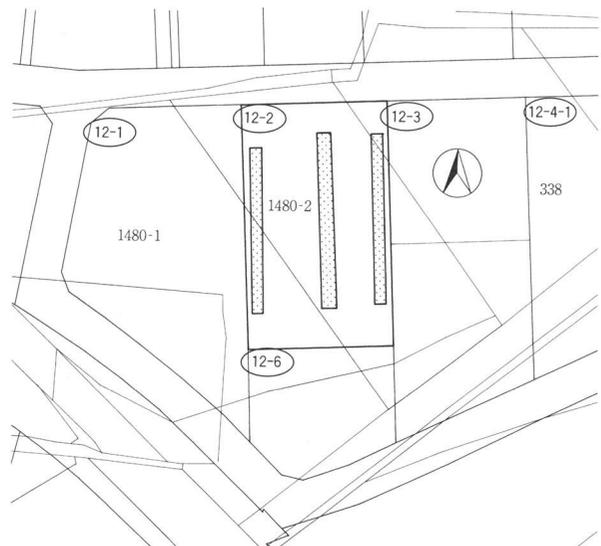
本遺跡は佐久市長土呂地籍に所在する。田切り地形が低地へと落ち込む付近に位置し、本遺跡の南方には新幹線佐久平駅があり、東側を新幹線の線路が走る。周辺は古くは圃場整備で、また近年では高速道路や駅周辺の開発などによって姿を変えており、往来の姿がうかがい知ることは難しい。佐久平駅周辺の区画整理事業に伴い本遺跡の周囲でも発掘が行われており、弥生時代の遺物を覆土に含む溝状遺構、また弥生時代の土坑・住居址、中世の土坑・井戸址などが確認された。

今回、上田昭により長屋住宅建設事業が計画され、対象地内の遺構・遺物の有無を確認するため試掘調査が実施されることとなった。

調査区内にトレンチを3本設定し、遺構・遺物の確認を行ったが、遺構・遺物ともに確認されなかった。地下は地表下130cmまでが後世の埋土であり、その下は水田層、そして水田層下、地表より2m下には黒色土層が堆積していた。地形は北から南に傾斜しており当地はかつて湿地状の低地であったと考えられる。



調査風景 (上: 北から・下: 北から)

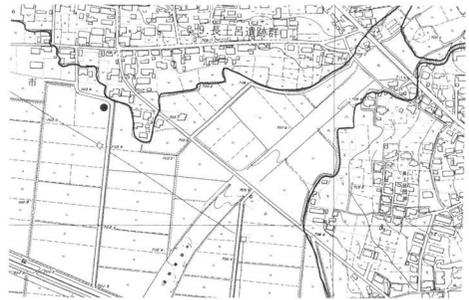


長土呂遺跡群9調査全体図 (1:1,000)
(○数字は、区画整理仮換地区符号)

試掘調査

44 長土呂遺跡群(隣接)10

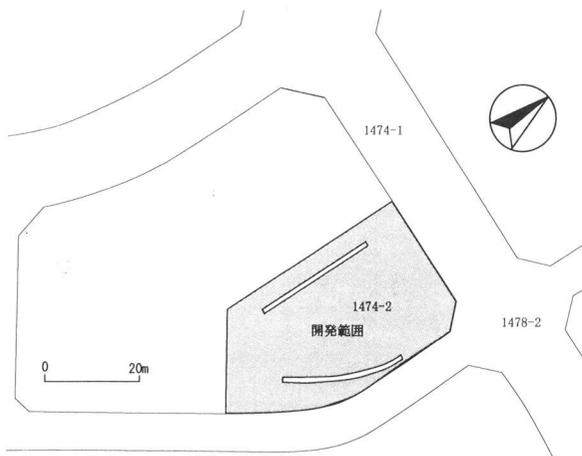
所在地 佐久市大字長土呂字中前田1478-1・2 (31-②・③)
開発主体者 神津英明
開発事業名 集合住宅建設
調査期間 平成15年2月5日
面積 50m² (開発面積1,367m²)
調査担当者 小林 眞寿



長土呂遺跡群(隣接)10位置図(1:10,000)

経過と結果

神津英明により長土呂遺跡群の隣接地において集合住宅の建設が計画された、当該地は詳細分布調査を実施した当時は水田であり、遺跡の有無が明確に把握できなかった部分であるため、試掘調査を実施した。予定地は区画整理時に盛土が旧地表面上に2m行われており、水田の耕作土がその下に50cm堆積していた。この下には泥炭層が形成されており、水田址等が存在する可能性も強いが、重機掘削の限界と安全性の両面から、現地表面化3mで掘削を断念した。この部分までは遺構・遺物は存在しなかったが、今後の開発に際しても注意が必要である。



←長土呂遺跡群(隣接)10全体図

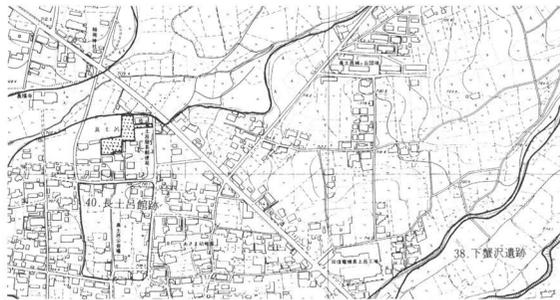


長土呂遺跡群(隣接)10調査状況→

試掘調査

45 長土呂遺跡群11

所在地 佐久市大字長土呂字北裏1305-1、1310-2
開発主体者 徳田 建春
開発事業名 長屋住宅
調査期間 平成15年2月26日
調査面積 350㎡（開発面積1,683㎡）
調査担当者 上原 学



長土呂遺跡群11位置図（1：10,000）

経過と結果

遺跡は岩村田市街地の北西、長土呂地積にあり、浅間山の麓から放射状にのびる細長い田切り地形の台地上に展開する。調査区は遺跡群南端に近い国道141号線南に位置し、西に濁川が南流する。標高は707m内外を測る。今回、徳田建春による長屋住宅建設が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を実施した。調査は重機により、東西方向のトレンチ1本、南北方向のトレンチ10本を設定し、遺構の確認を行った。その結果、遺構・遺物は認められなかった。なお、調査区内は表土直下に1.5m以上の砂が厚く堆積していることから、西側を南流する濁川の氾濫などによる影響が大きい地域であったと考えられる。



長土呂遺跡群11調査全体図（1：1,000）

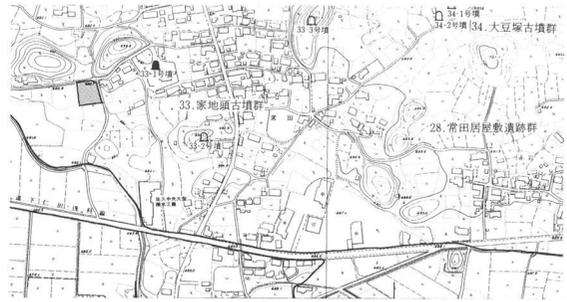


調査状況（東から）

試掘調査

46 常田居屋敷遺跡群 8

所在地 佐久市大字塚原字長塚1045-1、1046-5
開発主体者 西軽井沢開発株式会社
開発事業名 宅地造成
調査期間 平成15年3月10日
調査面積 100m² (開発面積1,465m²)
調査担当者 上原 学



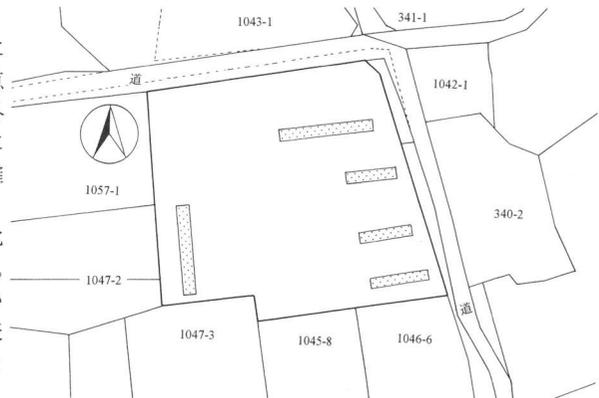
常田居屋敷遺跡群 8 位置図 (1:10,000)

経過と結果

遺跡群は佐久市北西部の塚原地積に所在し、周辺には浅間山の火砕流による「流れ山」と称する残丘が点在している。調査区は遺跡群の西側、標高682m内外の低地帯に位置する。今回、西軽井沢開発株式会社による宅地造成が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を実施した。

調査は重機により、東西方向のトレンチ4本、南北方向のトレンチ1本を設定し、遺構の確認を行った。その結果、北側の大半は2m程度の厚みで埋土していたため、遺構の検出は旧表土下まで掘り下げた。旧表土下は黒褐色土が厚く堆積し、湧水が認められたことから調査区一带は湿地帯であったと思われる。

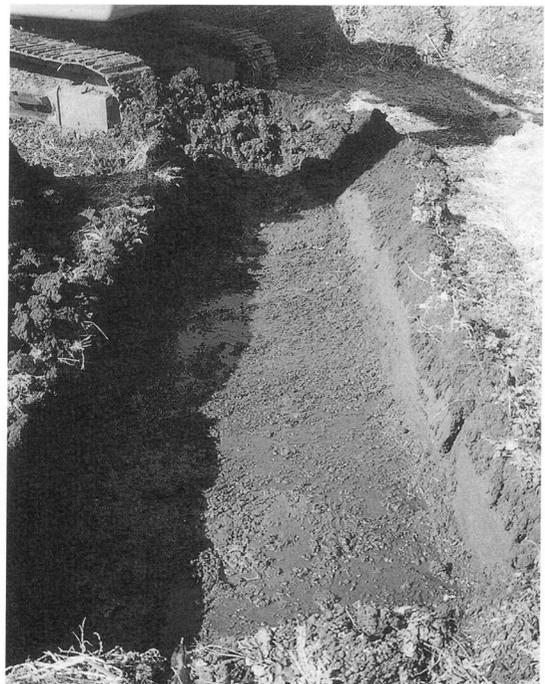
遺構・遺物は確認できなかった。



常田居屋敷遺跡群 8 調査全体図 (1:1,000)



調査状況 (南東から)



調査区南側トレンチ (東から)

試掘調査

47 原遺跡 1

所在地 佐久市大字本新町493
開発主体者 ボライト産業株式会社
開発事業名 佐久第二中部物流センター
調査期間 平成15年3月5日～7日
調査面積 900m² (開発面積2,968m²)
調査担当者 上原 学



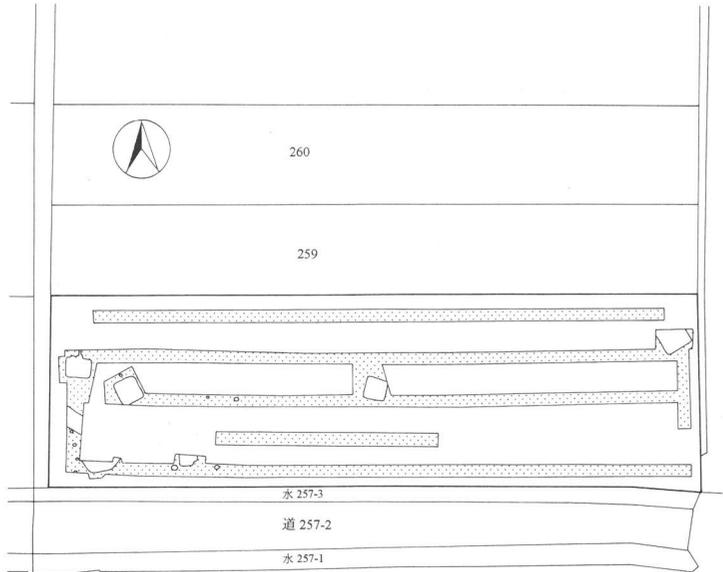
原遺跡位置図 (1 : 10,000)

経過と結果

遺跡は佐久市の南端、本町地積の白田町との境界線に近接する。調査対象地は遺跡一帯に広がる水田地帯の一角に位置し、標高は689m内外を測る。

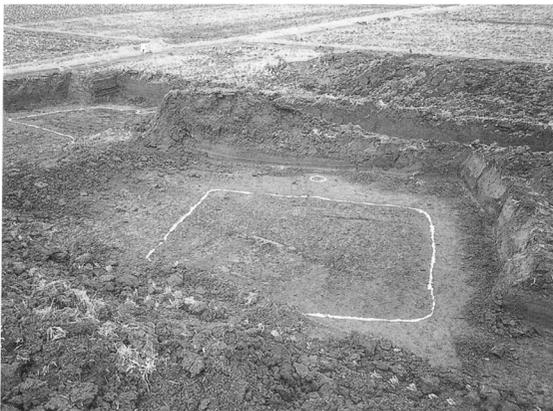
今回、ボライト産業株式会社による倉庫・事務所（佐久第二中部物流センター）建設工事が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

調査は重機により、東西方向のトレンチ6本、南北方向のトレンチ2本を設定し、遺構の確認を行った。その結果、現地表面から60～70cmの深さで確認したシルト質黄褐色土上面において、古代の住居址6軒、溝跡1条、ピット多数（掘立柱建物址の可能性あり）を検出した。遺物は住居址覆土内に奈良・平安時代の特徴を持つ土器片が数片認められた。



原遺跡1調査全体図 (1 : 1,000)

調査区内は埋土整地される計画であることから、遺構への影響がないと考えられ、埋土保存する運びとなった。なお、基礎部及び周辺の掘削に際しては立会調査を行った。



遺構検出状況



調査状況 (東から)

試掘調査

48 寄塚遺跡群 1

所在地 佐久市大字横和字内屋敷538-1他
開発主体者 日本道路公団
開発事業名 道路改良
調査期間 平成15年3月24日・25日
面積 208m² (開発面積6,208.33m²)
調査担当者 須藤 隆司



寄塚遺跡群 1 位置図 (1 : 10,000)

経過と結果

寄塚遺跡群は佐久市大字横和地籍に存在し、浅間山の東裾から流出し極端な蛇行曲流の河川である湯川左岸の高位段丘上に立地する。弥生時代から中世にかけての遺物が採集されており、複合的な集落の存在が想定されている。

今回、日本道路公団による道路新設拡幅改良事業が遺跡群内及び隣接低地部に計画されたため、対象地の遺構・遺物の有無を確認する目的で試掘調査を実施した。

僅かに対象地となった台地上平坦部にトレンチ2本、低地部にトレンチ2本を設定して、遺構・遺物の確認調査を行ったが、遺構・遺物共に存在しなかった。



調査全体図 (1 : 3,000)



台地調査トレンチ (南から)

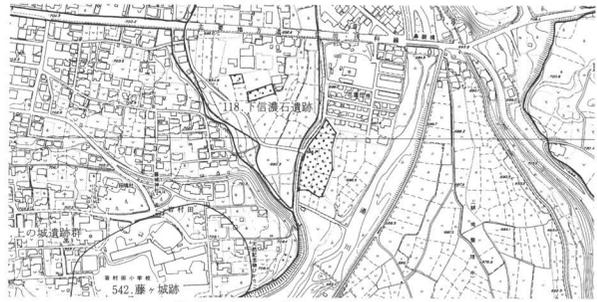


低地調査トレンチ (南から)

試掘調査

49 下信濃石遺跡 3

所在地 佐久市大字岩村田字下信濃石3365-1外
開発主体者 佐久市（区画整理課）
開発事業名 土地区画整理
調査期間 平成15年3月26・27日
調査面積 730㎡（開発面積7,200㎡）
調査担当者 上原 学

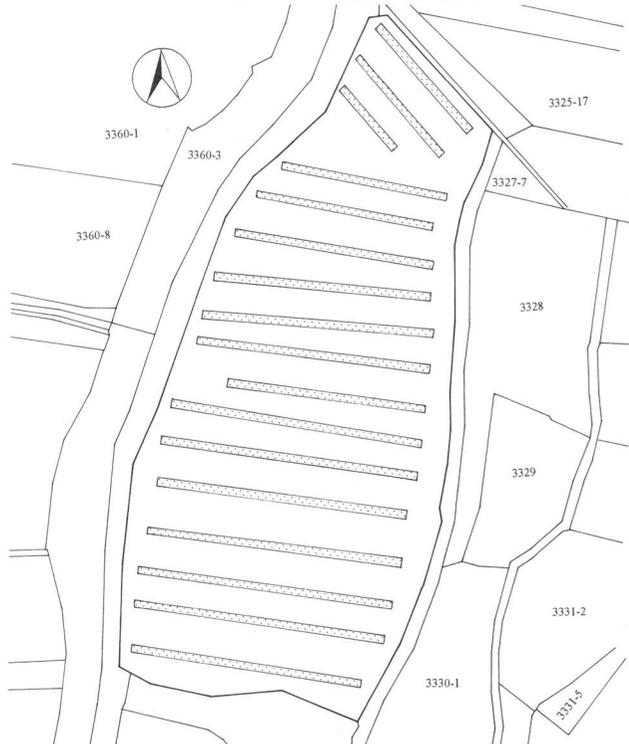


下信濃石遺跡3位置図（1：10,000）

経過と結果

遺跡は佐久市岩村田市街地の東、湯川右岸段丘上に展開する。調査対象地は遺跡の西側段丘端及び遺跡南東端に隣接する標高693m内外の地域と湯川右岸に広がる標高687m内外の段丘上である。今回、佐久市による区画整理事業が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

調査は重機により東西方向のトレンチ23本を設定し遺構の確認を行った。調査地域は大きく1地域に分けられ、7m内外の比高差があり、上段は泥炭層の湿地及びローム質の地山が認められた。下段は表土直下に厚く砂礫層が堆積し、2mの深さ湧水が認められた。いずれの地区からも遺構・遺物は、認められなかった。



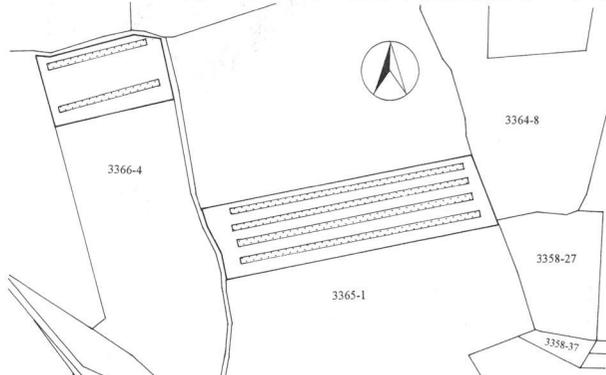
下信濃石遺跡3（下段の調査区）調査全体図（1：1,000）



下段調査状況（南西から）



上段調査状況（南から）

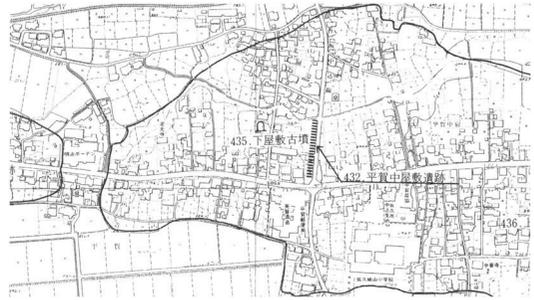


下信濃石遺跡3（上段調査区）調査全体図（1：1,000）

立会調査

50 平賀中屋敷遺跡 7

所在地 佐久市大字平賀3514-1～5367-1
開発主体者 佐久建設事務所
開発事業名 道路改良
調査期間 平成14年8月22日
面積 4.8m²（開発面積450m²）
調査担当者 須藤 隆司



平賀中屋敷遺跡7位置図（1：10,000）

経過と結果

平賀中屋敷遺跡は佐久市大字平賀地籍に存在し、滑津川の左岸段丘上に立地する。道路改良に伴い平成4年に実施した発掘調査では、10世紀後半の竪穴住居址4軒と土坑3基が検出されている。

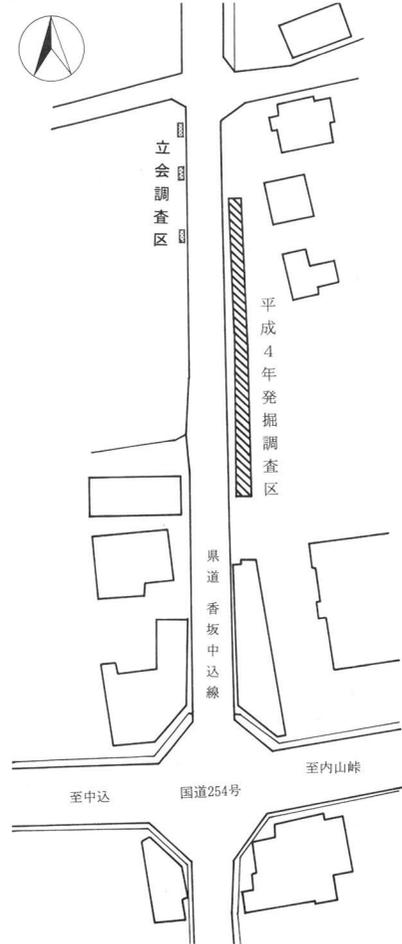
今回、佐久建設事務所により道路改良事業が前回調査地点の反対側に計画されたため、遺構・遺物の確認を目的とした立会調査を実施した。開発対象地の面積のやや広い場所に200cm×80cmの調査坑3カ所を設定して確認を行った。その結果、開発対象地は今回の開発深度を超える旧道路建設に伴う盛り土部分であることが判明した。



調査状況（南から）



堆積状態（東から）



調査全体図（1：1,000）

立会調査

51 黒田 A 遺跡 1

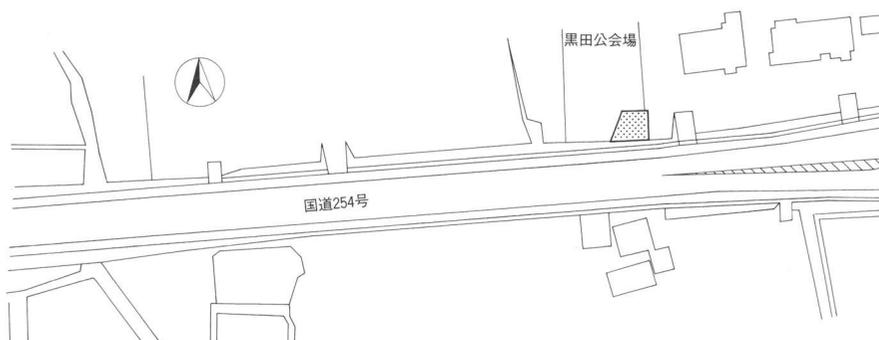
所在地 佐久市大字内山字黒田167-4
開発主体者 佐久市土木課
開発事業名 道路改良
調査期間 平成14年9月13日
面積 10m² (開発面積20m²)
調査担当者 林 幸彦



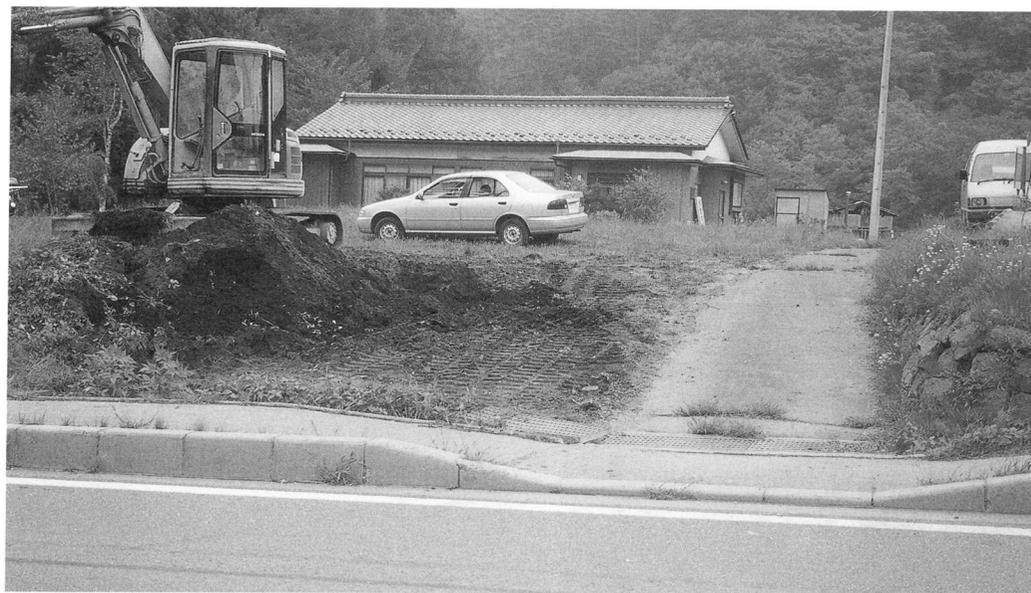
黒田 A 遺跡 1 位置図 (1 : 10,000)

経過と結果

佐久市土木課が黒田公会場脇市道の改良工事を計画した。工事が着工され、掘削時に立ち会った。
表土下30~80cmで黄褐色のロームの地山に至った。
遺構・遺物ともに確認されなかった。



黒田 A 遺跡 1 調査全体図 (1 : 1,000)



黒田 A 遺跡 1 掘削状況 (南から)

立会調査

52 竹原遺跡 3

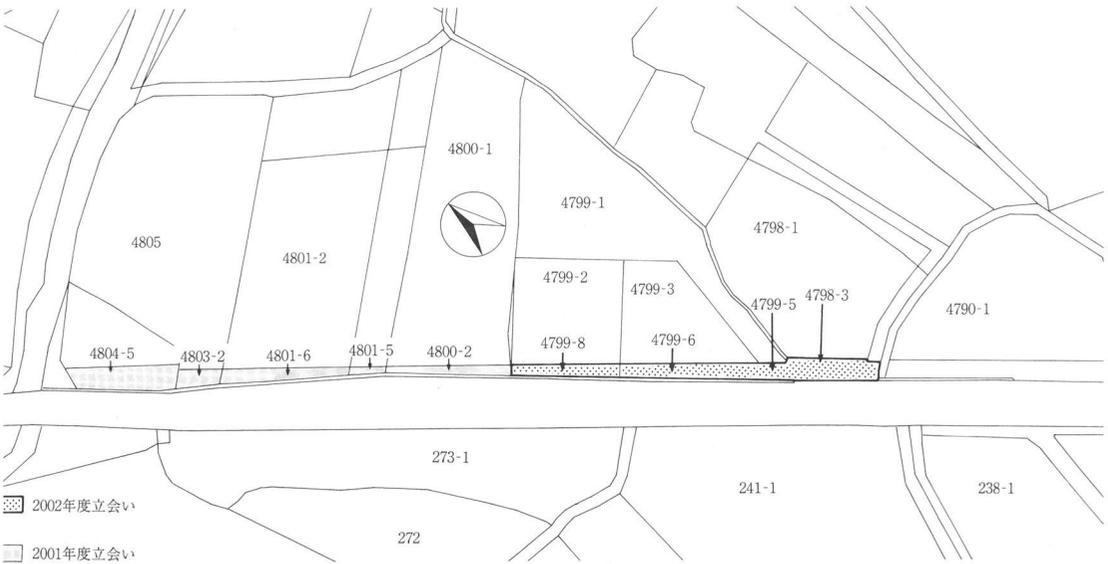
所在地 佐久市大字平賀4799-5・6・8、4798-3、4943-4
開発主体者 佐久建設事務所
開発事業名 県単交通安全工事
調査期間 平成14年10月21日、11月18日
面積 20㎡（開発面積160㎡）
調査担当者 林 幸彦



竹原遺跡 3 位置図 (1 : 10,000)

経過と結果

佐久建設事務所が交通安全事業（側溝・歩道）を計画した。側溝工事の掘削時に立ち会い、遺構の有無を調査した。表土下40～55cmで黄褐色の地山に達した。遺構・遺物ともに確認されなかった。



竹原遺跡 3 調査全体図 (1 : 1,000)



立会地点近景（北西から）



掘削状況

立会調査

53 今井宮の前遺跡 1

所在地 佐久市大字今井414-2、423-3、425-7・8・9
431-5、433-6、434-5
開発主体者 佐久市高速交通課
開発事業名 市道13-1号線拡幅改良工事
調査期間 平成15年1月30日、2月4・5日
面積 50m² (開発面積495m²)
調査担当者 林 幸彦

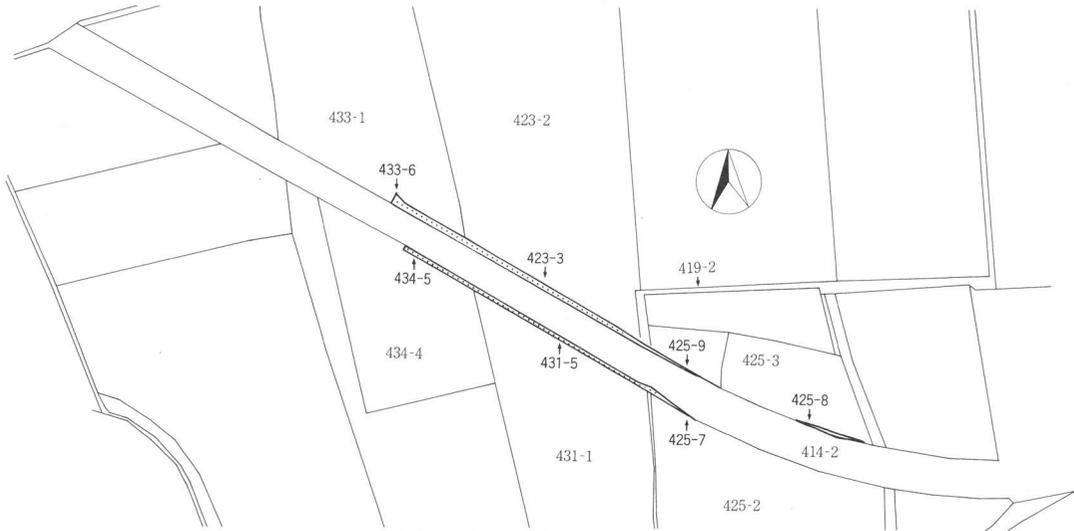


今井宮の前遺跡1位置図 (1:10,000)

経過と結果

佐久市建設部高速交通課が高速道関連県費補助事業である市道13-1号線拡幅改良工事を計画した。側溝敷設工事の掘削時に立ち会い、遺構の有無を調査した。

表土下70~80cmで黄褐色の地山に至った。遺構・遺物ともに確認されなかった。



今井宮の前遺跡1調査全体図 (1:1,000)



側溝掘削状況 (北西から)



側溝掘削状況 (南東から)

立会調査

54 根々井氏館跡5

所在地 佐久市大字根々井字亀田621-1、他26筆
開発主体者 佐久下水道組合
開発事業名 ガス・水道・下水道本管敷設事業
調査期間 平成14年1月14日～3月28日
面積 100m²（開発面積120m²）
調査担当者 出澤 力



根々井氏館跡5位置図（1：10,000）

経過と結果

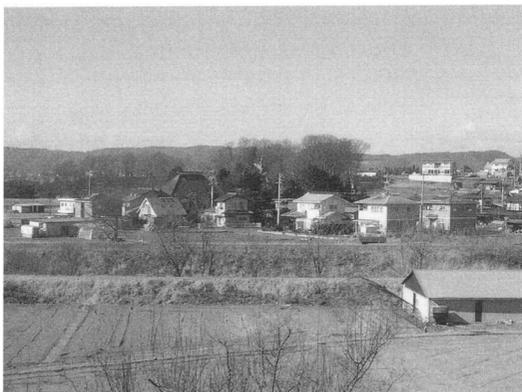
根々井氏館跡は、湯川の右岸段丘上に位置する。この地は中世初頭、根々井の地に勢力を持った滋野氏系の豪族根井行親の館跡と推定されている。根井行親は源平の争乱の際、源（木曾）義仲の上洛に従い佐久党と称された佐久地方の武士団のひとりとして、特に木曾義仲の四天王と呼ばれる程の勢力を持った人物であると伝えられている。根井氏館跡は昭和40年県史跡として指定されている。当地周辺は地名や地割りに中世居館とその周辺に営まれた集落の特徴を持っており、館跡と推定される地域は字名が亀田であり、これが「構え田」つまり館を構えた地域であるということから根井氏の居館跡と推定された。また指定地域内にある正法寺は根井行親の開基と伝えられている。ただし、根井氏館跡の推定地については他説も存在している。

今回、佐久下水道組合によりガス・水道・下水道本管敷設事業が計画され一部が県史跡範囲内の道路内に及ぶため、県教育委員会の現状変更許可を受けた後に立会調査を実施することとなった。

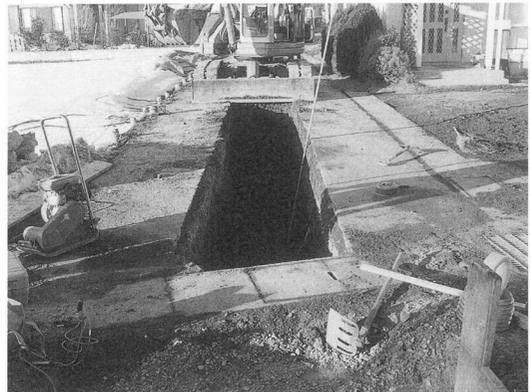
下水道本管敷設、およびガス・水道敷設箇所について工事着工時に立会い、その状況について調査を行った。下水道本管は既存する道路上を掘削し埋設され、幅は約1.2m、深さは1.6mからマンホール敷設箇所まで最高4.2mを掘り下げられた。道路の下は一部で最高70cmまで攪乱を受けており、対象地の南にはローム層が見られその下には河川氾濫の痕と見られる砂層と巨大な礫が認められる。調査区北側には水田層が確認される。

遺構については認められず、遺物は攪乱層中から出土した甕1点と南側の水田層内で出土した五輪塔の空風輪1点の出土のみである。甕は須恵器質の中世陶器と考えられるが、攪乱内からの出土のため館に関係するものとは断定できない。空風輪についても館と言うよりは正法寺に関連する遺物であると思われる。立会調査の結果今回対象地においては中世居館に関連する事物については確認されなかった。

工事は平成15年度についても引き続き行われ、立会調査の方もそれにともない継続されている。



根々井氏館跡5遠景（南から）



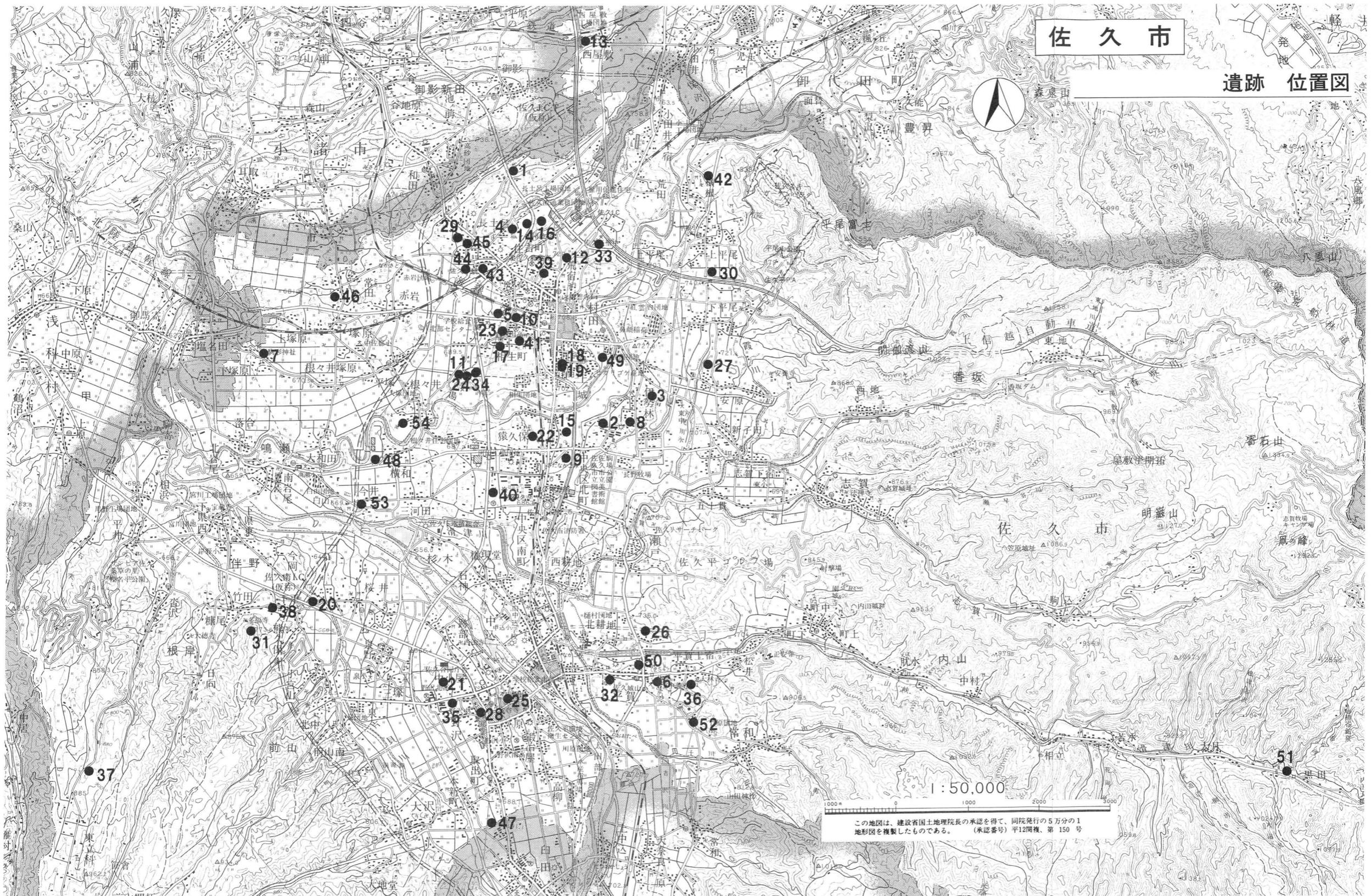
掘削状況（南から）



根井氏館跡 5 調査全体図 (1 : 1,000)

2002年度（平成14年度）市内遺跡発掘調査一覧表

No	遺跡名	開発主体者	所在地	開発事業名	調査面積 (㎡)	開発面積 (㎡)	保護 措置	調査期間	担当者
1	周防畑遺跡群12	エフビー信州㈱	長土呂	店舗(事務所兼倉庫及駐車場)	598	1,594	試掘	H14.4.5	出澤
2	野馬窪遺跡群3	佐久市土地開発公社	猿久保	サッカー場整備	1,600	7,000	試掘	H14.4.6~10	三石
3	蛇塚B遺跡群7	中沢 健一郎	新子田	集合住宅	350	1,417	試掘	H14.5.7・8・15	三石
4	長土呂遺跡群6	東亜開発㈱	長土呂	宅地造成	300	1,955	試掘	H14.4.8・9	上原
5	円正坊遺跡群4	中澤 敦子	岩村田	集合住宅	730	1,700	試掘	H14.4.24~5.15	林
6	平賀中屋敷遺跡6	佐久市(学校教育課)	平賀	学校建設	220	1,264	試掘	H14.4.25・26	上原
7	四つう子遺跡2	高柳 盛健	塚原	集合住宅	180	1,358.46	試掘	H14.5.10	林
8	蛇塚B遺跡群8	市川 海作	新子田	集合住宅	230	810.83	試掘	H14.5.15	上原
9	番屋前遺跡群14	国土交通省 関東地方整備局長	猿久保	庁舎造築・駐車場造成	117	530	試掘	H14.5.16,8.24	三石
10	円正坊遺跡群5	土屋 賢嗣	岩村田	宅地造成	470	12,953.43	試掘	H14.5.20~30	林
11	鳴澤遺跡群(隣接)4	増田 裕行	岩村田	個人住宅兼医院	50	1,321.82	試掘	H14.5・21	上原
12	岩村田遺跡群30	上原 康德	岩村田	集合住宅	260	1,416.53	試掘	H14.5.23・24	上原
13	前田遺跡群1	三浦 三夫	小田井	集合住宅	344	1,352.95	試掘	H14.5.23~25	出澤
14	長土呂遺跡群8	佐久市(高速交通課)	長土呂	道路	650	1,990.28	試掘	H14.5.7~9、 11.11・12	林
15	猿久保屋敷添遺跡5	㈱マルハン	岩村田	店舗	2,000	15,333.92	試掘	H14.5.30~6.4	三石
16	長土呂遺跡群7	神津 厚一	長土呂	集合住宅	370	2,997	試掘	H14.6.5・6	林
17	宮の西遺跡2	佐久市(佐久市立国保浅間総合病院)	岩村田	病院建設	210	1,436.21	試掘	H14.6.20・21	上原
18	上の城遺跡群8	ミヤモリ不動産㈱	岩村田	宅地造成	161.81	1,084.78	試掘	H14.6.25~27	出澤
19	上の城遺跡群9	ミヤモリ㈱	岩村田	宅地造成	187.25	1,111	試掘	H14.6.25~27	出澤
20	未周知	佐久建設事務所	伴野	道路	1,130	5,337.95	試掘	H14.7・1~24	三石
21	長明塚遺跡(隣接)4	廣岡 右橋	野沢	集合住宅	210	1,255	試掘	H14.7.26・29	三石
22	寺畑遺跡群10	㈲新栄開発	猿久保	宅地造成	288.6	1,018	試掘	H14.7.30	須藤
23	円正坊遺跡群6	㈱平和不動産	岩村田	宅地造成	250	1,271	試掘	H14.7.26	出澤
24	一本柳遺跡群(隣接)11	佐久市(土木課)	岩村田	道路	150	2,983.60	試掘	H14.7.1~3	森泉
25	野沢跡6	佐久市(都市計画課)	原	道路	35.6	4,950	試掘	H14.8.2	出澤
26	開戸田遺跡1	佐久建設事務所	内山~平賀	道路建設	860	33,000	試掘	H14.8.30,9.2、 10.7~11.29	上原
27	筒畑遺跡群1	㈱エム・エス・ケイ	安原	事務所・倉庫	550	3,285.11	試掘	H14.9.4・5	上原
28	野沢跡(隣接)7	佐久建設事務所	野沢	道路	20	130	試掘	H15.9.23	上原
29	周防畑遺跡群13	ナコー開発㈱	長土呂	宅地造成	320	1,938	試掘	H14.9.25・26、 11.11	上原
30	東大久保遺跡群(隣接)3	佐久市(排水対策課)	上平尾	汚水処理施設	270	1,283	試掘	H14.10.18	上原
31	虚空蔵山狼煙台1	佐久市(都市計画課)	根岸	公園造成	206	755	試掘	H14.10.23・24	小林
32	荒家遺跡2	セキスイハイム信越㈱	平賀	宅地造成	350	1,210.60	試掘	H14.10.23	上原
33	西赤座遺跡11	学法 佐久学園	岩村田	学校グラウンド	900	4,849	試掘	H14.10.22~30	林
34	一本柳遺跡群12	東鉄工業㈱	岩村田	店舗	200	6,525	試掘	H14.10.25~29	森泉
35	東五里田遺跡4	佐久市教育長(教育委員会)	野沢	学校建設	8,700	17,753	試掘	H14.11.5~25	富澤
36	平賀城跡5	大林寺住職 増田 友厚	平賀	納骨堂	153	972	試掘	H14.11.11	小林
37	東立科A遺跡1	佐久市(土木課)	東立科	道路	208	16,965	試掘	H14.11.18~20	須藤
38	西裏遺跡群1	清水 秀昭	伴野	工場(作業所及び駐車場)	145	1,191	試掘	H14.12.20~21	富澤
39	中久保田遺跡7	㈱大勝田開発	岩村田	宅地造成	66	1,943	試掘	H14.12.25	富澤
40	中原遺跡群26	㈱イチイ学館	中込	老人福祉施設	120	1,160	試掘	H14.12.25	林
41	宮の後遺跡3	㈱平和不動産	岩村田	宅地造成	50	2,063	試掘	H14.12.6	林
42	上の原遺跡群2	㈲田園不動産	横根	宅地造成	130	2,290	試掘	H14.26・27	林
43	長土呂遺跡群9	上田 昭	長土呂	長屋住宅	88.2	847	試掘	H15.1.21・22	出澤
44	長土呂遺跡群(隣接)10	神津 英明	長土呂	集合住宅	50	1,367	試掘	H15.2.5	小林
45	長土呂遺跡群11	徳田 建春	長土呂	長屋住宅	350	1,683	試掘	H15.2.26	上原
46	常田居屋敷遺跡群8	西軽井沢開発㈱	塚原	宅地造成	100	1,465	試掘	H15.3.10	上原
47	原遺跡1	ポライト産業㈱	本新町	倉庫・事務所	900	2,968	試掘	H15.3.5~7	上原
48	寄塚遺跡群1	佐久市(高速交通課)	岩村田	道路	208	6,208.33	試掘	H15.3.24・25	須藤
49	下信濃石遺跡3	佐久市(区画整理課)	岩村田	土地区画整理	730	7,200	試掘	H15.3.26・27	上原
50	平賀中屋敷遺跡7	佐久建設事務所	平賀	道路	4.8	450	立会	H14.8.22	須藤
51	黒田A遺跡1	佐久市(土木課)	内山	道路	10	20	立会	H14.9.13	林
52	竹原遺跡3	佐久建設事務所	平賀	道路	20	160	立会	H14.10.21,11.18	林
53	今井宮の前遺跡1	佐久市(高速交通課)	今井	道路	50	495	立会	H15.1.30,2.4・5	林
54	根々井氏館跡5	佐久下水道組合	根々井	ガス・水道、下水道本管布設	100	120	立会	H15.1.14~3.28	出澤



佐久市

遺跡位置図



1 : 50,000

この地図は、建設省国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1
地形図を複製したものである。(承認番号)平12関機、第150号

2002年度(平成14年度)市内遺跡発掘調査位置図(1:50,000)

佐久市埋蔵文化財調査報告書

- | | | | |
|------|---|-------|---------------------------------|
| 第1集 | 『金井城跡』 | 第60集 | 『曾根城遺跡Ⅱ』 |
| 第2集 | 『市内遺跡発掘調査報告書1990』 | 第61集 | 『割地遺跡』 |
| 第3集 | 『石附窯址群Ⅲ』 | 第62集 | 『野馬久保遺跡Ⅱ』 |
| 第4集 | 『大ふけ』 | 第63集 | 『西大久保遺跡Ⅲ』 |
| 第5集 | 『立科F遺跡』 | 第64集 | 『梨の木遺跡Ⅳ』 |
| 第6集 | 『上曾根遺跡』 | 第65集 | 『中宿遺跡』 |
| 第7集 | 『三貫畑遺跡』 | 第66集 | 『中西ノ久保遺跡Ⅱ 仲田遺跡 寺畑遺跡Ⅱ』 |
| 第8集 | 『瀧の下遺跡』 | 第67集 | 『供養塚遺跡』 |
| 第9集 | 『国道141号線関係遺跡』 | 第68集 | 『前藤部遺跡』 |
| 第10集 | 『聖原遺跡Ⅱ』 | 第69集 | 『高山遺跡Ⅰ・Ⅱ』 |
| 第11集 | 『赤座垣外遺跡』 | 第70集 | 『観音堂遺跡』 |
| 第12集 | 『若宮遺跡Ⅱ』 | 第71集 | 『市内遺跡発掘調査報告書1997』 |
| 第13集 | 『上高山遺跡Ⅱ』 | 第72集 | 『市道遺跡Ⅱ』 |
| 第14集 | 『栗毛坂遺跡』 | 第73集 | 『西一本柳遺跡Ⅲ・Ⅳ』 |
| 第15集 | 『野馬久保遺跡』 | 第74集 | 『五里田遺跡』 |
| 第16集 | 『石並城跡』 | 第75集 | 『八風山 五斗代』 |
| 第17集 | 『市内遺跡発掘調査報告書1991』（1月～3月） | 第76集 | 『南近津』 |
| 第18集 | 『西曾根遺跡』 | 第77集 | 『番屋前遺跡』 |
| 第19集 | 『上芝宮遺跡』 | 第78集 | 『蛇塚遺跡 蛇塚古墳』 |
| 第20集 | 『下聖端遺跡Ⅲ』 | 第79集 | 『四ツ塚遺跡Ⅰ』 |
| 第21集 | 『金井城跡Ⅲ』 | 第80集 | 『四ツ塚遺跡Ⅱ』 |
| 第22集 | 『市内遺跡発掘調査報告書1991』 | 第81集 | 『薬師寺遺跡』 |
| 第23集 | 『南上中原・南下中原遺跡』 | 第82集 | 『市内遺跡発掘調査報告書1998』 |
| 第24集 | 『上聖端遺跡』 | 第83集 | 『下聖端遺跡Ⅳ』 |
| 第25集 | 『上久保田向Ⅳ』 | 第84集 | 『榛名平遺跡』 |
| 第26集 | 『藤塚古墳群・藤塚Ⅱ』 | 第85集 | 『柳堂遺跡』 |
| 第27集 | 『上久保田向Ⅲ』 | 第86集 | 『市内遺跡発掘調査報告書1999』 |
| 第28集 | 『曾根新城Ⅴ』 | 第87集 | 『宮添遺跡』 |
| 第29集 | 『筒村遺跡B 山法師遺跡B』 | 第88集 | 『下曾根遺跡』 |
| 第30集 | 『市内遺跡発掘調査報告書1992』 | 第89集 | 『川原端遺跡』 |
| 第31集 | 『山法師遺跡A 筒村遺跡A』 | 第90集 | 『梨の木遺跡Ⅲ』 |
| 第32集 | 『東ノ割』 | 第91集 | 『西一本柳遺跡 中長塚Ⅰ・Ⅱ 松の木遺跡Ⅰ・Ⅱ』 |
| 第33集 | 『聖原遺跡Ⅶ 下曾根遺跡Ⅰ』 | 第92集 | 『辻の前遺跡Ⅱ 中仲田遺跡Ⅱ』 |
| 第34集 | 『西一本柳遺跡Ⅰ』 | 第93集 | 『入高山遺跡』 |
| 第35集 | 『市内遺跡発掘調査報告書1993』 | 第94集 | 『聖石遺跡』 |
| 第36集 | 『蛇塚B遺跡Ⅲ』 | 第95集 | 『市内遺跡発掘調査報告書2000』 |
| 第37集 | 『西一本柳遺跡Ⅱ 中西ノ久保遺跡Ⅰ』 | 第96集 | 『上木戸遺跡』 |
| 第38集 | 『南下中原遺跡Ⅱ』 | 第97集 | 『久瀬添遺跡』 |
| 第39集 | 『中屋敷遺跡』 | 第98集 | 『深堀Ⅱ・Ⅲ・Ⅴ』 |
| 第40集 | 『寺畑遺跡』 | 第99集 | 『中道遺跡』 |
| 第41集 | 『曾根新城遺跡Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ
上久保田向遺跡Ⅰ・Ⅱ・Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ
西曾根遺跡Ⅱ・Ⅲ』 | 第100集 | 『野沢館跡Ⅲ』 |
| 第42集 | 『寄山』 | 第101集 | 『深堀遺跡Ⅳ』 |
| 第43集 | 『権現平遺跡 池端遺跡』 | 第102集 | 『円正坊遺跡Ⅳ』 |
| 第44集 | 『寺添遺跡』 | 第103集 | 『聖原 ー第1分冊ー』 |
| 第45集 | 『市内遺跡発掘調査報告書1994』 | 第104集 | 『聖石遺跡Ⅱ』 |
| 第46集 | 『濁り遺跡』 | 第105集 | 『曾根城遺跡Ⅲ』 |
| 第47集 | 『上芝宮遺跡Ⅴ』 | 第106集 | 『樋村遺跡Ⅱ』 |
| 第48集 | 『池端城跡』 | 第107集 | 『聖原 ー第2分冊ー』 |
| 第49集 | 『根々井芝宮遺跡』 | 第108集 | 『市内遺跡発掘調査報告書2001』 |
| 第50集 | 『藤塚遺跡Ⅲ』 | 第109集 | 『西一本柳Ⅷ』 |
| 第51集 | 『寺中遺跡 中屋敷遺跡Ⅱ』 | 第110集 | 『佐久駅周辺土地区画整理事業
埋蔵文化財発掘調査報告書』 |
| 第52集 | 『坪の内遺跡』 | 第111集 | 『上ノ城遺跡』 |
| 第53集 | 『円正坊遺跡Ⅱ』 | 第112集 | 『西赤座』 |
| 第54集 | 『市内遺跡発掘調査報告書1995』 | 第113集 | 『西一本柳遺跡Ⅸ』 |
| 第55集 | 『番屋前遺跡Ⅰ・Ⅱ』 | 第114集 | 『供養塚遺跡Ⅱ』 |
| 第56集 | 『聖原遺跡Ⅹ』 | 第115集 | 『聖原 ー第3分冊ー』 |
| 第57集 | 『高師町遺跡Ⅱ』 | 第116集 | 『東久保遺跡Ⅱ』 |
| 第58集 | 『下穴虫遺跡Ⅰ』 | 第117集 | 『東五里田遺跡』 |
| 第59集 | 『市内遺跡発掘調査報告書1996』 | 第118集 | 『東近津遺跡』 |
| | | 第119集 | 『野沢館跡Ⅳ』 |

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第120集

市内遺跡発掘調査報告書2002

2004年3月

編集・発行 佐久市教育委員会

〒385-8501 長野県佐久市大字中込3056

文化財課

〒385-0006 長野県佐久市大字志賀5953

TEL 0267-68-7321

印刷所 中信社